VOL2. 臨時增刊 昭和54年8月20日発行 ISSN 0386-8036

四大学看護学研究会雑誌

(Journal of Universities' Nursing Research)

第 5 回四大学看護学研究会総会 ープログラム及び内容要旨ー

四大学看護学研究会

標績管理は

新発売

体圧測定から

始めて下さい

褥瘡予防は除圧が基本です

リップル体圧計は、患者の体重圧道の状態をみ るのに便利な測定器具です。

リップル体圧計の構造は、極めて簡単で、9Vの 電池で操作できます。

リップル体圧計の使用により、体表面と支持媒体 (マットレス等)との圧追状態が一量で分ります。

体圧ゲージー

→ 緑

→ 毛細管閉塞なし

赤

→ 組織損傷あり

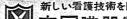
患者の体圧が簡単に計れる

ターレイ計製

褥瘡予防・治療マットレス リップルベッド 関連商品

- ●体重分散・除圧効果の高い…一般ベッド用マット
- ●一般ベッド兼用・看護のし易い…ICUベッド用マット
- ●長時間手術でも安心な………オペ台用マット
- ●術後 ■復時に便利な…リカバリーベッド用マット
- ●家庭向けディスポタイプ……普及用塩ビマット
- ●部分敷兼用ディスポタイプ……小児用塩ビマット
- 青損患者向け取扱い簡単な…ハーフサイズマット
- ●屋内・屋外移動可能な…車椅子用シートクッション

※詳細カタログは当社医療具課までご請求下さい。 発売元



· 力二ス2杰

ロジャーズ看護論

M.E.Rogers

訳者 樋口康子 日本赤十字幹部看護婦研修所教務部長 中西睦子 神奈川県立衛生短期大学講師

アメリカの看護界で大きな反響を呼んでいるマーサ・ ロジャーズの看護論の全訳。看護が対象とする人間に 焦点を当て、八間の特性に即した看護および看護学の 確立を強調している。

●A5 頁174 図2 1979 ¥1.500 〒200

オレム看護論

看護実践における基本概念

著者 D.E.Orem

訳者 小野寺杜紀 神奈川県立衛生短期大学衛生看護科 原著は、多くの臨床・教育の場で、評価・検証され現 在もテキストブックとして使用されている良書。看護 を実践していく上で常に指標となる看護概念を, 具体 的かつ詳細に展開し、看護学生にとつても臨床看護婦 にとつても、自分の現在おかれている立場、問題点、困 難な点などを考察するのに必要な内容をもつている。

●A5 頁258 図3 1979 ¥2,000 〒200

患者との非言語的 コミュニケーション 人間的ふれあいを求めて

著者 M.N.Blondis B.E.Jackson 訳者 仁木久恵 聖路加看護大学教授

岩本幸弓 立教女学院中学校教諭

医学の進歩はめざましく、看護の世界にもさまざまな 技術革新がもたらされた。その中にあつて、ナースは 直接対象としての患者一人間を常に中心においていな ければならない。本書は、看護における非言語的コミ ュニケーションを真正面からとらえ, 広い範囲での探 究を行つている。実践菌では、詳細にわたる症例をあ げ具体的な示唆を与えている。

●A5 頁208 1979 ¥1,300 〒200

新しい看護の役割

アメリカにおける看護業務の拡大

編集 B.Bullough

監訳 山城正之 神戸大学教授

アメリカでは、70年代に入って一般医の減少や医療経 済の観点から、そして何よりも看護婦自らの認識によ って,診断・治療にまで看護の役割を拡大しつつある。 本書は拡大されつつある看護の役割についての論文を 集めたもの。今後のわが国の看護活動の方向について 示唆を与え、"自前"の看護体制構築の必要性も教示。

●A5 頁248 図7 1979 ¥2,000 〒200

カラーアトラス人体

解剖と機能 第2版

横地千匁·J.W.Rohen

●A4 頁110 図27 写真122 原色図166 色図6 1979 ¥5.500 **=**240

慢性関節リウマチ患者の看護

告松俊一・原田登世子・木次節子

●A5 頁198 図50 写真34 1979 ¥1,900 〒200

看護記録

幡井ぎん・他

●A5 頁223 表61 色図4 1979 ¥1,400 〒200

CCUマニュアル

J.S.Alpert · G.S.Francis = 著

春見建一・森本和大・森島

●A5 頁160 1978 ¥2,000 〒200

ナースに必要な

診断の知識と技術

日野原重明・安部井 徹・岡安大仁・本多虔夫・道場信孝 ●A4変型 頁176 図213 1978 ¥2,900 〒200

看護のためのPOS

F.R. Woolley · M.W Warnick · R.L. Kane · E. D. Dyer = 著 日野原重明・青木恵子・新井和子=訳

●A5 頁192 図23 表4 1978 ¥1,400 〒160

がん患者の心世話をする人々への指針

R.D.Abrams=著 吉森正喜=訳

●A5 頁130 1979 ¥1,000 〒160

がん看護

その総合的アプローチ

編集=H.D.Behnke 会見美知子·他=訳 ●A5 頁364 図17 1978 ¥2,600 〒200

医療ケースワークの 初歩的実践

柴山悦子・平島裕子

●A5 頁210 図2 1979 ¥1,800 〒160

医療・医学序説

よりよい医療をもとめて

品川信良

●A5 頁160 1978 ¥1,400 〒160

医療と教育の刷新を求めて

●A5 頁300 図15 1979 ¥1,600 〒200

臨床看護マニュアル

監訳=和田 攻・上田礼子

●A5 頁1,300 図190 写真140 1976 ¥5,800 〒300

マイルズ 助産婦マニュアル

助産と保健指導のすべて

M.F.Myles=署 監訳=松本清一・前田マスヨ

●A5 頁720 図529 色図17 1978 ¥6,600 〒200

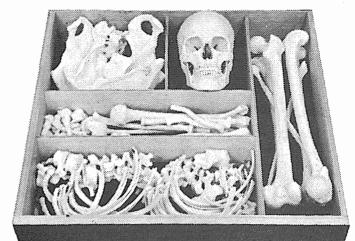


学書院 🕮 🗓 🗎 🖳 📆 🕳 東京・夕京・本郷5-24-3 🕿 東京(03)811-1101 振替東京7-96693

定評ある(ち) 'ークの基礎医学教材

取りはずし組立しやすい軟質合成樹脂製(新名称・解説書付)⊙人体解剖模型(一○○分解)移動式車付台

成入型, 歯並び一級 実物骨格分離標本 上質木製ケース入り



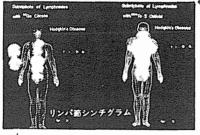
破れない新合成紙使用

)人体生理解剖掛図ラー改訂版 ※※※心臓と胸腺 26枚

長さ 110cm×巾80cm

営業品目抜萃 実物頭骨標本3分解 直 液 循 環 模 型 理解剖局部模 理解剖寒物標 糖尿病食品交換模型 各種患者治療食模型 性病・皮膚病模型 失禁患者用ゴム製便器 足 子 防 看護実習モデル人形 科 乳房マッサージ練習模型 人工呼吸術練習人形 静脈注入訓練模型

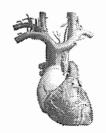
- 【総合カタログ進呈】



●スライド放射線医学

耳鼻咽喉科学 消化器外科 整形外科学 泌尿器科学 • • 産婦人科学 病原微生物学 人体組織学· 新看護技術

リハビリテーションと理学療法



心臟解剖模型



腎臟模型



胃解剖模型



株式 坂 本 モ デ ル 京都市左京区下鴨東高木町 34 会社 坂 本 モ デ ル TEL (075) 701-1135(代) 〒60

TEL (075) 701-1135代) 〒606

会長 村 田 栄

会 期 昭和54年9月24日(月・秋分の日)

 $(8:30\sim17:30)$

会 場 徳島大学常三島キャンパス

徳島市南常三島町1~1

講演会場 教育学部12番教室

第5回四大学看護学研究会会場案内図

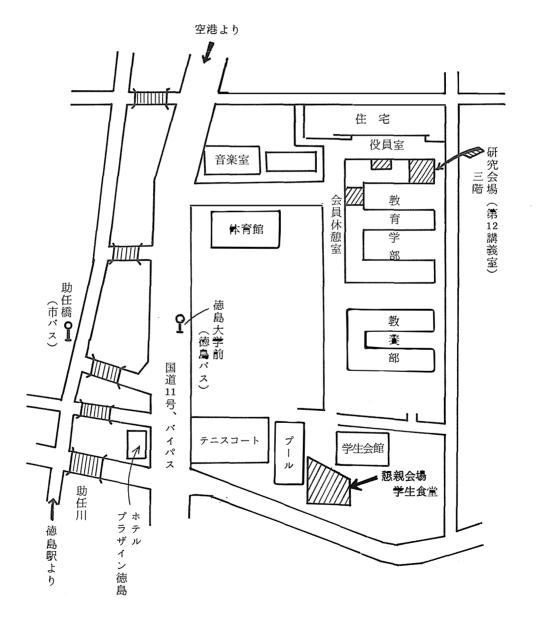
交通の便 1) 徳島駅より

○市 バス 吉野川橋ゆき, 鯛の浜ゆき,

島田石橋ゆき

助性橋下車 徒歩3分2) 徳島空港より

◦徳島バス 德島大学前下車 養歩1分



学会運営についてお願い

会の運営が支障なく進行しますよう、下記の点について皆様の御協力をお願いします。

。 会場費及び参加証

- 1) 本学会運営のため参加者から受付で会場費 1,500 両を納めていただき、引き換えに参加証をお渡しします。
- 2) 参加者は、相互の理解のため所定の参加証に所属と氏名を記入し、名札として胸におつけ下さい。
- 。 演者及び質疑討論の方々に
 - 1) 次演者は、演者登壇と同時に次演者席におつき下さい。
 - 2) 一般演題は演説時間は7分間とします。

予定時間1分前に予鈴を鳴らし予告します。時間を厳守して下さい。

予定時間となりましたらブザーを鳴らします。時間超過の場合, 座長から演説中止を申入れる場合 もあります。

- 3) スライド使用は原則として一般演題では10枚程度として下さい。プロジェクターは2台準備します。
- 4) 追加発表をなさる方は予め座長に申出下さい。 追加発表の時間は3分とします。
- 5) 質疑・応答の場合, 座長の指示を得て, 発言の前にまづ所属・氏名をはっきりのべてから発言して下さい。
- 6) 討論の発言時間は1人・2分以内として下さい。
- 7) 演者は演説終了後、演説原稿(コピーでも可)を進行係に提出して下さい。
- 8) 追加発表,質疑発言をされた方は発言後直ちに内容要旨を200字以内にまとめて,所属・氏名・ 発表演題番号を明記のうえ進行係に提出して下さい。また演者の回答発言についても同様降壇後整理 して同様提出して下さい。

。 雷 話 連 絡

当日は休日のため電話連絡は出来ませんので御了承下さい。

。 会員休憩室

図書, 教材の展示があります。 御利用下さい。

午前の部 8:30~12:10

開 会 8:30

会長 挨 拶

A 一般演題 8:35~

I群 8:35~9:05

座 長 千葉大・教育学部 宮 崎 和 子

1) 学生による成人看護実習指導の評価

千葉大・看護学部 渡 辺 陽 子他

2) 看護学生の臨床実習に影響を及ぼす臨床指導者の行動に関する一考察

厚生連・高岡看護専門 木 町 節 子他

3) 臨床実習において看護学生が望む教師像についての研究

茨木市立・三島中 山 下 かおる他

I群 9:05~9:40

座 長 徳島大・教育学部 木 内 妙 子

4) 千葉市における学校検尿の実態

松戸市立・常盤平第2小 態 谷 久美子他

5) 慢性腎疾患養護学校入学者の保健管理上の問題点について

東京・世田谷区立駒雷中 松 倉 薫他

6) 成人検診における血圧管理 -特に境界域高血圧者について-

秋田県・能代高 加 賀 淑 子他

Ⅲ群 9:40~10:10

座 長 熊本大・教育学部 木 場 富 貴

7) 糖尿病の教育入院を考える

千葉大・教育学部 山 口 桂 子他

8) 急性骨髄性白血病患者の看護をとおしての一考察

慮児島大・医学部附属病院 東 サト江

9) 臨床における看護過程の分折 - 不満の多い患者へのアプローチー

熊本大・医学部附属病院 正村 啓 子

休憩 10分間

N群 10:20~11:00

座 長 千葉大・教育学部 鵜 沢 陽 子

10) 術後経管栄養法に関する研究

熊本大・医学部附属病院 池 上 緑他

11) 上顎がん、術後の疼痛を訴える患者への看護活動について

千葉県・衛生専 宮 腰 由紀子他

12) 小児の術前オリエンテーションに関する研究

弘前大·教育学部 木 村 宏 子他

13) 術後訪問をしての一考察 - 術前オリエンテーションの評価-

筑波大・附属病院 田 中 久美子他

V群 11:00~11:40

座 長 弘前大・教育学部 木 村 宏 子

14) 乳房のもつイメージについての研究(I)

徳島大・教育学部 野島良子他

15) 眼球摘出術後の母・児への外来での授助

千葉県・衛生専 宮 腰 由紀子他

16) 就労と母性 --卒業生の就労状況からみた看護職と母性-

山形県天童市・第2中 田 中 洋 子他

17) 新生児沐浴槽の細菌汚染とその消毒について

神戸大学・附属病院 藤 本 洋 子他

B 四大学看護学研究会総会 11:40~12:10

議事

議 長 会

------ 昼 食 休 憩 ------

午後の部 13:30~

C 特別講演 13:30~14:30

座 長 会 長

看護心理学の課題

文教大学・人文学部 岡堂哲雄教授

D シンポジウム 14:30~17:00

大学における看護学校教育の検討 -大学における看護研究について-

座 長 弘前大・教育学部 川 上 澄

徳島大・教育学部 野島良子

1. 皮膚消毒後の無菌状態保持に関する実験的研究

徳島大・教育学部 福 井 公 明

2. 鑷子の無菌性に関する検討

弘前大・教育学部 阿 部 テル子

3. 母親の育児姿勢に関する研究 -母親の育児姿勢に影響を及ぼしている要因の検討-

熊本大・教育学部 成田 栄子

4. 本論論 -看護研究と看護学研究との間にあるもの-

千葉大・教育学部 内 海 滉

質疑・討論

5. 座長まとめ

E 会長講演 17:00~17:30

看護学教育について - 回顧10余年-

会 長 徳島大・教育学部 村 田 栄

閉 会 17:00

懇 親 会 18:00~20:00

会場学生食堂

研究会参加者,多数の御参加をお待ちしています。 (会費 2.000月)



患者監視から心電図検査までフルに活用できます。

有線、無線両用で、監視装置と心電計の機能 を兼備えています。心電図、心拍数のほか長 時間の心拍数トレンドや時刻も表示できます。 小形熱ペンレコーダでは遅延心電図の記録や 停止波形の読出し記録、心拍数トレンドの記 録も可能です。重さわずか13kg、自由に持ち 歩け、ベッドサイドやナースステーション、 手術場のモニタとして、あるいは通常の心電 計としてフルに活用できます。

価格139万円

NEW カルデオスーパ 2E3

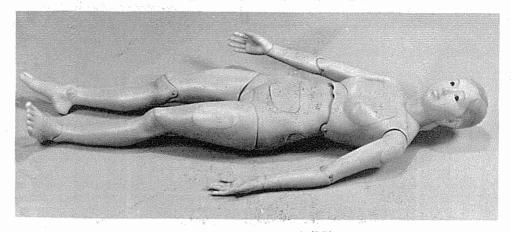
扱いやすい/破損しにくい/リアルな体形

全身塩化ビニール製 特殊調合(半硬質・軟質)

実習モデル〈ケイコ〉

看護実習用モデル人形で女子。トータルタイプ ¥250.000.

実習項目 注射、洗浄、浣腸、導尿、清拭、包帯など



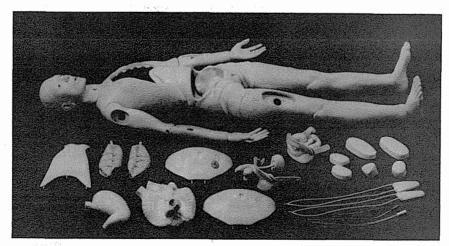
男性・女性の

開性: 対性の 万能実習モデル

¥650.000.

高度の柔軟性をもつ特殊樹脂製 全長 約175cm

実習項目 人工呼吸、注射、採血、洗浄、灌注、呼気 挿管洗、套管挿入、清拭など



(看護教育用カタログ贈呈)

(1) 京都科学標本株式会社

本社 京都市中京区河原町通二条南 電 075 (211) 3501(代表) 東京 東京都千代田区神田錦町1の4 電 03 (291) 5231(代表)

福岡 福岡市中央区今川2丁目1-12 電 092 (731) 2518

第5回四大学看護学研究会

講演要旨

会長講演

看護教育について

-- 回顧10余年 --

徳島大学教育学部 村 田 栄

徳島大学教育学部に看護課程が設置されて、10余年の歳月が流れた。

その設置の意義並びに、設置の当初に如何なる事が論じられたか、また時と共にどのような変転がみられたか。

このようなことをも考慮しつ \mathbf{s} , 創立以来の経験を乏しい記憶をたどりつ \mathbf{s} , 看護教育について考えてみたい。

看護心理学の課題

文教大学人間科学部 岡 堂 哲 雄

看護ケアは、不安や孤独あるいは困惑している人間(おもに病む人)に安らぎを感じるように支援する ことだと言われている。個人が経験する安らぎは、行動科学的にみると、心身の緊張が強すぎることもな く、また弱すぎることもない安定した状態である。このような行動的(心理的)安定性を得るように支援 するには、病気あるいは健康と人間行動に関する理解が求められる。

人間の行動がどのような信組みによって、目標へ動機づけられたり、変容したりするかが理解できれば、看護ケアの過程に現象することがらを説明できるだけでなく、行動予測も可能になるし、行動的安定性を目ざした行動の制御もまた企てることができるはずである。それには、看護ケアに対する心理的アプローチ(看護心理学)が必要とされるであろう。本来、心理学の目標は、人間を含む生活体の行動現象を記述し、それに説明を与え、さらに行動予測を行い、人間の生存と福祉にとって大切な制御を企てることにあるからである。

現代心理学のなかでも、臨床心理学は、看護ケアの過程にもっともかかわりが深い分野である。臨床心理学は、19世紀末にアメリカのWitmer、L.が問題児の治療教育に心理学を応用しようとしたことにはじまる。フランスのBinet、A.もまた、特殊教育のために知能検査を創案したのであった。その後、臨床心理学はしだいに医療モデルに従って、社会的不適応現象やパーソナリティの異常現象に対する心理診断と心理治療に主たる関心を示すことになった。しかし、最近では、再び教育的な面が強調されるように変りつつある。心理的に問題をもつ人に対する援助には、その家族や地域の人びとを含めた企てがいっそう有効であることもはっきりしてきた。それに異常心理学的な問題をもたない健常者が、いっそうの自己実現を求めたり、一段とすぐれたリーダーシップ能力を得ようとするばあいにも、臨床心理学的な援助が役立つこともようやく知られるようになったのである。

このような臨床心理学の動向は、ちょうど看護ケアが病者への援助だけでなく、健常者の健康教育にまで広がってきていることに対応しているとみてよいであろう。たとい病む人に対するケアであっても、その個人だけでなく、家族ぐるみの援助の方が一段と効果的であることは、大方のナースがすでに気付いているとおりである。

臨床心理学に影響を与えた諸理論には、精神分析諸派(とくにパーソナリティの構造と機能、適応に関する見方)、パーソナリティ発達に関する学説、知覚に関する理論(自己および世界に関する知覚のダイナミックス)、学習理論にもとづく行動変容論(望ましい習慣の習得)、危機的状況に対する介入の理論、集団の凝集性やリーダーシップに関する集団力学的アプローチなどがある。これらの諸理論を統合して目常の心理臨床を一段と向上させる取り組み方として、生活システム理論(theory of living systems)が提言されている。

この生活システム理論は、臨床心理学だけでなく、看護心理学にとってもまた、重要な見方であるように思われる。看護心理学が看護ケアの過程を目標とする以上、伝統的な心理学説の応用だけでは十分といえないであろう。たとえば、精神分析の理論を応用するにしても、個人と家族・友人・職場・地域社会などとの相互作用を合せてみなければ適切な援助を企てることも、それを実行することも難しいにちがいない。

ところで、看護ケアの対象となる行動には、つぎの4つのタイプがある(Ruth Wu)。

保健行動 health behavior

病気行動 illness behavior

病者役割行動 sick-role behavior

障害者役割行動 impaired-role behavior

これらの行動を説明する理論としては、Wu のように別々の理論を応用するのではなく、生活システム理論によればいっそう包括的に理解することができよう。

要するに、看護心理学の課題は、第1に、看護ケアの過程を心理学的に解明することである。加えて、 それをもとに看護ケアの目的にそって心理面、行動面の援助を行っていくための方策や技法の検討が必須 のことがらになる。それには、生活システム理論が有力な考え方として重視すべきように思われる。

シンポジウム

S-1) 皮膚消毒後の無菌状態保持に関する実験的研究

大学における看護教育の検討 - 大学における看護研究 -

徳島大学教育学部 福井公明

s-2)鑷子の無菌性に関する検討

弘前大学教育学部 ○阿 部 テル子 熊 谷 裕 子 五十嵐 千賀子 西 村 尚 子 木 村 紀 美 津 島 律 今

1 諸 言

院内感染の原因の一つとして医療器具の汚染がとりあげられている。鑷子は、『頃我々が使用する機会の多い器具であり、無菌的操作に使用される場合、細菌学的に清潔であることが必要条件であるが、他の医療器具に関する研究と比較して、報告が少ない。そこで我々は、病棟において使用開始後の鑷子に付着する菌および落下細菌の経時的変化、鑷子立ての大きさ、鑷子立て内の鑷子の本質と鑷子に付着する菌製、鑷子立て内に入れる消毒液としてのヒビテン液の効果について実験を加え、鑷子の細菌による汚染度を検討した。

Ⅱ 研究方法

- 1. 減菌後の鑷子を、病棟の処置室内で減菌・消毒物の取扱いに使用した場合と、包交車上に置いて包 交介助に使用した場合とについて、付着する菌数を経時的に観察した。
- 3. 5%ヒビテン液を滅菌蒸留水および蒸留水で希釈した場合の,液中の細菌の種類と贄を観察した。
- 4. 直径 7.5 cm, 深さ 1.2 cmと,直径 9 cm, 深さ 1.5 cmの鑷子立てに,長さ 2.3 cmの鑷子をそれぞれ 1.5 cm0 毎子に付着する菌数を観察した。

Ⅲ 成 績

- 1. 処置室内で, 滅菌・消毒物の取扱いに使用した鑷子に付着する菌激は, 使用後 6 時間までは, めだった変動がなかった。
- 2. 包交介助に使用した鑷子は、使用前より、使用後(繁人の患者の包交介助後) に菌繁の増加が認められた。
- 3. 処置室内で使用した鑷子より、包交車上の鑷子の方が汚染された。
 - 点下細菌は季節により変動があり、冬期より夏期の方が菌数が多く、また内科病棟より外科病棟の 方が菌の増加率が大きかった。
- 5. 蒸留水で希釈したヒビテン液内には生菌が認められ、時間的経過と其にその黴の増加が認められた。
- 6. 鑷子立ての大きさ、鑷子の本数と、鑷子の汚染には、明確な関連性が認められなかった。

IV 結 語

以上の成績より、鑷子の汚染度は落下細菌や空気・人の動きなどの環境的因子、および用い方の違いによって差が認められた。また、鑷子立てにヒビテン液を入れて使用する場合は、ヒビテンの希釈方法によって、必ずしも鑷子の清潔が保てないことが明らかにされた。しかし、本研究は実験例数や実験内容に検討の余地があり、この点についての追究を深めることによって、更に明確な、あるいは新たな結果を導き出せる可能性があると考えられた。

S-3)母親の育児姿勢に関する研究 -母親の育児姿勢に影響をおよぼして いる要因の検討-

熊本大学教育学部 〇成 田 栄 子 水 上 明 子

近年、母親の育児姿勢に関する問題は、マス・コミをはじめ、各方面で証目をあびているが、問題点の一つに核家族化による影響を指摘しているものも少なくない。また一方では、最近の母親の育児姿勢の向上をあげているものもあり、そこで、母親の育児態度を規定している一般的な要因として、詫麘らは、家庭における人間関係、子どもの出産順位、母親の性格、価値観、過去の生活経験をあげ、これらは相互に関係し、複雑に影響しあって、現実の母親の育児態度となっている。と述べていることから、特に今■は、母親の育児姿勢に影響をおよぼしていると考えられる母親の性格と子どもの出産順位および過去の育児経験と家族形態(核家族と複合家族)が、母親の育児姿勢にどのように影響しているかを検討したものである。

対象は,膿和52年10月20日から同年11月20日までの1か月間に,熊本市内にある3か所の保健所において実施された3歳児健康診査の受診者で,事後に家庭訪問による調査を了承した核家族の母親(3歳児を含む)を各々50人任意に選出した。

研究方法は,質問紙による面接調査であり,母親の性格については,Y-G 性格検査法による性格類型を用いている。子どもの出産順位は,3 歳児を基に第1 子であるか,あるいは第2 子以降であるかに分けている。

対象者の背景は、3歳児で第1子のものが55%、第2子以降が45%である。家族形態別の核、複合家族の両者間に、母親の年令、母親の性格類型別の分布、子どもの生産順位に差異はなく、学歴のみが核家族にわずかに短大、大学卒業者が多くみられる。なお、複合家族の76%は夫方の父母等との同居である。

母親の育児姿勢について,まず,家族形態別に,3歳児の現在の日常生活行動の自立の状態からみると,母親の過去の育児経験(自分の子どもを持つ以前の育児経験)のあり・なしを比較した場合,育児経験ありに日常生活行動の自立が高い。しかし核・複合家族別に出産順位別にみると,核家族では,育児経験ありの第1子に日常生活行動の自立が高く,第2子以降の育児経験なしに自立が低い傾向がみられる。これに対し,複合家族では,全く逆の結果で,第1子で育児経験なしの母親の子どもに日常生活行動の自立が有意に高く,第1子で育児経験ありが最も低くなっている。このことは同居家族との関係も考えられる。母親の育児姿勢に関する調査項目からみると,核家族の第2子以降の母親に,望ましい育児姿勢が多くみられるのに対し,複合家族の第2子以降に,干渉的,保護的な育児姿勢が多くみられ,また,子どもの幼少時の排泄のしつけも,同様の傾向で,核家族の第2子以降の母親は排泄のしつけを割合きびしく,きちんとしている傾向がみられる。

母親の性格類型別に、家族形態毎の3歳児の日常生活行動の自立をみると、核家族第1子、第2子以降、複合家族第1子、第2子以降共に母親の性格類型D型に子どもの日常生活行動自立が高いという結果である。母親の育児姿勢では、有意差ではないが、母親の性格類型C、D、B型に望ましい育児姿勢が割合に多く、A型に保護的な育児姿勢、E型に保護的、干渉的な育児姿勢がみられている。家族形態毎に、母親の性格類型別育児姿勢は、数が少なく、ばらつきが多いため結論は得られなかった。

母親の性格類型別だけについて、3歳児の日常生活行動の自立をみると、特に3歳児の友達遊びについては、母親の性格の違いによる差が大きく、性格類型D型では友達遊びが多く、A型が平均的であるのに対し、B、E、C型に友達遊びが有意に少ないという結果である。即ち、母親の性格類型で消極的、内向的な母親では、子どもの友達遊びが少ない傾向がみられる。また、3歳児の衣服の着脱行為を親が手伝おうとする行動に対する3歳児の嫌がる反応も、友達遊びの結果と全く同じ傾向がみられている。

その他,排泄の自立をはじめ,脱衣,食事の自立についても,母親の性格類型D型に,3歳児の日常生活行動の自立が高い傾向がみられる等,母親の性格による育児姿勢の違い,あるいは子どもの行動への影響が,かなり大きなものであるとの結果が得られた。

引用文献

1) 詫摩武俊他: 性格, 大日本図書, P. 138, 1977.

S-4) 卒 論 論

一看護研究と看護学研究との間

にあるものー

千葉大学教育学部 内海 滉

この問題は遙かに遡らねばならない。すなわち、看護は学たりうるか否かと言うことから始めねばならないであろう。しかし、研究が学の確立に関与する知的行動のすべてであると理解する時、学としての資格を獲得するための看護「学」的研究にとっては、従来より烙印を押されつづけて来た「実践」の目標のみを至上とする最高の看護のための術式の完成人の学習または精進の一部は当然その資格を失なうことになるものと思われる。

研究は、一つの非実践的な冷えた姿勢である。ただ一つの情熱が許されるとすれば、冷静になることへの努力であり、真理の確認への情熱である。これは実践への意識とは全く異なる世界のものであり、瞬時を争う酷しい現場では許されないことである。

研究は、認識の各段階において成立する、初歩の研究は発見学習や問題解決学習の如きも含むであろう。 しかし、これは大学レベルでの研究ではない。大学レベルでの研究は、学習的なカリキュラムではなく、 人類において歴史的な発見であり、再現への論理であらねばならぬ。

配和39年3月,看護学校等教育課程改善に関する調査研究会が,看護学校のカリキュラムについて提出した案にみられる看護総合演習"看護研究"におけるごとき"事例についての看護活動の分析研究(傍点・著者)"ではなく、個別性を捨象した完全な法則の追求と確立とが望ましいと考える。

今,研究をその段階の性質により,下表の4群に分類する。

	個 別 性 (一 固 性)	普遍性 (多固性)
生 産 的	研 筅 1.	研究 2.
創造的	研 究 3.	研究 4.

研究1.は、ただ一つの経験の確認であり、稽古または練習に過ぎない。看護教育上不可欠のものではあるが、これを似て大学での研究とすべきではない。研究2.はやはり応用と工夫に過ぎず、真の研究とは言い難い、求むべきは、生産の視座から離れた研究3.または4である。研究3.は個別的なものであっても、フロイトの症例の如く学的次元を拡大する不朽の症例であれば、研究として充分にその意義を有しよう。逆に、研究4.の型式をとっていても、その認識のレベルの低い貧弱な研究は、その価値を認め得ない。しからば、その認識のレベルは何を以て評価すべきか。

私は、それを「次元の高さ」により、また「より高き次元への可能性」により評価したい。数学に例をひけば、門周率700桁までの計算の後に、900桁まで算出しても、さして高次の発想の転換を認め難い、ただ精神的労働がより大であったに過ぎない。しかるに、正十七角形の作図は、正十五角形の作図の後においても容易ではなく、更に正十九角形を思索する重要な示唆を与えるものと考える。より高き次元への可能性の発見は、その次元の高さの更に数層も上位のものである。症例研究・調査研究・実験研究・文献研究など、研究の諸ジャンル毎に、上述の意味で、その次元の検討と評価をしてみたい。

しかしながら、卒論の評価は決してその質や次元に止まるものではない。学生の努力・根性・指導教官や被検者との人間関係など、あらゆる面より観察され得る好機であり、また、学生自身が社会と人間と自己とを知るための最高の術式の完成への学習としても(したがってこれは研究とは言い難い)、評価せられればならぬ。

卒論こそは、大学における最大の教育行為であり、学の確立への師弟の協同体の自覚である。

一般演題

1般-1)学生による成人看護実習指導の評価

千葉大学看護学部成人看護学第 I · 第Ⅱ講座 ○渡 辺 陽 子

末 次 たづ子

小島操子

千葉大学看護学部成人看護学第Ⅰ・第Ⅱ講座では、学生がより効果的な実習を行うことができるよう、また、指導教官がより効果的な指導を行うことができるように、教授活動の評価を評価表を用いて行っている。

評価表には、学生がどのような時に指導教官の援助を必要とするか、どのような因子が実習効果に影響を及ばしているかが、できるだけ具体的にわかるように、下記のような質問事項を設定した。

- ① どのような時に、指導教官の援助を必要としたか。
- ② 指導教官のどのような態度や行動が臨床での学習に効果的だったか。
- ③ 叉,非効果的だったか。
- ④ 実習中,ストレスとなったものは何か。
- どのようなことに喜びを感じたか。
- ⑥ どのような成長があったか。
- ⑦ 指導教官に要望することは何か。

この評価表は各実習毎に学生に配布し,実習終了後,回収ボックスに提出させている。

今回は、基礎実習終了後、各領域の特殊性に応じた実習(領域別実習Ⅱ)への導入となる領域別実習Ⅰ に関して、1回生と2回生の評価結果を比較検討した。

1回生の評価内容を分析した結果,実習効果を妨げている因子として,改善の急務なものを大まかにま とめると,下記のようであった。

- ① 指導教官が学生を理解していない。
- ② 実習環境が充分整っていない。
- ③ 記録物が多く,書くのに時間を要す。
- ④ 学生自身の看護技術が未熟である。

これらの問題を解決するために、2回生に対して、我々の作成したnursing cara plan format に基づいた、小グループ制のケースセミナーを実施した。グループをローテーションすることにより、指導教官と学生の相互理解を深め、また学生は記録にも慣れた。一方、実習病院の物品の整備や、人間関係を良くするなど、実習環境の改善の努力を続けている。さらに、基礎看護実習の達成度を強化するための配慮が行われている。これらのことより、1回生と2回生の評価の内容が変化してきた。

1般-2) 臨床実習において看護学生が望む教師像についての研究

山口県立防府高等学校 子 下 佳 木 愛媛県喜多郡内子町立 大瀬小学**校** 栄 子 瞢 本 大 病 高 亚 文 子 院 谷 官 晃 子 下 茨木市立三島中学 校 ОШ かおる 野 良 子 鳥

看護を学ぶ過程において臨床実習は不可欠であるといわれているが、学生の側からみれば、それは精神的・肉体的に厳しい学習であり、常時意欲的に行うのは容易ではない。学生の実習意欲の向上と減退にはさまざまな要因が関与していると思われるが、本研究においてはそれらの要因の一つとして教師をとりあげ、学生が臨床実習において望む教師像を、1)教師のパーソナリティ、2)教師と学生の相互理解、

3) 教師の指導行為, 4) 教師としての能力の4点から明らかにした。

方 法:質問紙法

対 象: 4 教育学部を含む 6 看護大学, 2 看護学校の最終学年の学生 1 9 9 名

結 果:学生は現実の教師に対して、患者やケアに関心をもっているが、学生のことに関してはあまり敏感ではなく、学生の気持ちをあまり受け入れていないと感じている。いっぽう、学生が望んでいる教師は、看護に対する情熱をもち、学生を暖かく受け入れ、知識をわかりやすく伝達でき、学生の能力を公平に評価する教師である。

学生の描く教師の現実像と理想像の関係をみると、現実像に対する得点よりも理**態像**に対する得点の方が高く、両者間には明らかに差がみられた。

教育学部学生群と非教育学部学生群とでは、102項目中得点に有意差が認められたのは わずか7項目であるが、教師が臨床実習にいつも来る群と、ほとんど来ない群とでは、102 項目中34項目についてその得点に有意差が認められた。

1般-3) 看護学生の臨床実習に影響を及ぼす臨床指導者の行動に関する一考察

厚生連高岡看護専門学校 ○木 町 節 子 厚生省看護研修研究センター 西 村 千代子

[研究目的

看護の学習を動機づけ発展させるために、臨床指導者のとる行動を学生はどう受けとめているかを実 習場面で捉え、それが学生の実習効果にどう影響するかを明らかにする。

Ⅱ 研究方法

自由記述による事例調査

1. 調查対象

石川・富山両県における3年課程看護婦学校6校における第2学年,第3学年の学生,合計372 名。この学生から580事例を得た。 2. 調査方法

臨床指導者の行動によって、実習が援助又は阻害されたという体験があれば記述してもらう。

調査期間

昭和53年11月6日~11月17日

- 4. 事例の整理
 - ① 学生の受けとめた結果(援助又は阻害)に基づき,事例の背景(指導者別・実習場別・学生の準備状況)を捉えた。
 - ② 回収した全事例から援助又は阻害となった因子を抽出し、その意味を明らかにした。
 - ③ 事例分析により実習のプロセスに影響を与えた因子の機能を明らかにした。

Ⅲ 結 果

- 1. 事例の背景からみた結果、臨床指導者の行動はいずれの場合も援助より阻害が多かった。
- 2. 臨床指導者の行動に関する因子は, 5 8 0 事例から 6 5 2 抽出され, 阻害の場合は対人的特性が教育的機能を僅かに上回り, 援助の場合は教育的能力が対人的特性を大巾に上回った。
- 3. 事例分析により、因子の相互関連性及び機能上の特徴をみることができた。

№ 考察及びまとめ

指導者の対人的特性により実習開始時に学生の意欲を阻害する傾向が認められ、教育的能力は、対人的特性が良好に働いている場合に援助因子として効果を発揮していることが明らかになった。

このことにより、対人的特性は臨床実習場面において、学習を**成**立させ発**展**させるための基盤となる ものであると考えられる。

1般-4) 千葉市における学校検尿の実態

千葉県松戸市立常 盤平第二小学校 千葉大学教育学部 土屋尚義 長方病院村越康一

学校検尿は全国的に組織化されてなお日が浅く未解決の部分の多い領域である。千葉市では全国に先がけて昭和48年末,全小・中学校全学年に毎年実施し50年度からは精密検診,追跡調査を含めた検診システムを確立している。今回はシステムの実際の運用状況,陽性者のその後の受診状況及び日常生活の実態を調査し2,3の検討を行なった。対象は市内全小・中学生約9万名中の精検陽性者599名で,中82%は血尿のみ陽性者であったが急性・慢情腎炎,ネフローゼ病候群などの要加療者が26名発見された。3年間の追跡調査では1年以内に正常化又は軽快43%,不変45%,悪化12%であった。精検結果に応じて診断名別に一応の目安として決められてある受診及び生活指導基準と,主治医による実際の指示は略完全に一致しかつ大部分の例で守られていたが,一部では運動や食事に関しやや厳しい制限を指示され又は患児,保護者が自ら指示以上に厳しい制限を課していた例もあった。

陽性者には個人別に経過観察手帳が学校を通じて保護者に交付されるが担任,養護教諭,保護者,主治 医間の活用にはなお改善すべき点が認められた。手帳所持者の約30%はその後の受診の記録がなかった。 又手帳を媒体として養護教諭は主治医から遂一病状を把握し本人,家族と健康,生活相談の場が設けられ る筈であり,事実このような役割りを果している学校もあったが,なお充分には利用されていない面もあ った。

養護教諭の意見として精検結果の通知が遅い,自覚症状がないので個々の症例の具体的指導がやり難い, 学校内での養護教諭の憧置づけ,担任との関係などがあり,又保護者からは通知が遅い,検診不信,めん どう等の意見があった。

今後精検方法の改善,養護教諭に対する教育及び情報提供,養護教諭の一層積極的な役割分担が必要であり又予後追跡の長期継続による,より詳細な医学的知見の開発と相まって検診システムを有効にすべきと思われた。

1般-5)慢性腎疾患養護学校入学者の保健管理上の問題点について

東京都世間谷区立 駒 留 中 学 校 〇松 倉 薫 千葉大学教育学部 土 屋 尚 義 長 汐 病 院 村 越 康 一

腎疾患は若年者に多発し、しばしば入院を含む長期療養を要し学校生活、社会・家庭生活の長期中断は個人の教育、人格形成上も多くの問題を生じ易い。患児の保険管理上の問題点を検討するために国立千葉東病院に入院し併設の県立仁戸名養護学校に在学中の56名及び同校に在学後病状軽快し退院、普通学校に復帰している23名を対象として調査を行なった。同校は小児腎病棟に併設され専任の養護学校教員により教育され教師と医師、看護婦間の連係は常時密接に行われていた。

息児、保護者は養護学校に対し入学前は不安が大きいが、入学後保護者は全員入学して良かったと感じたのに反し息児の50%は不満で共同生活や規制に対するストレスを訴え退院を望む声も多かった。一方入学によって息児は自立性が増し、病気に対する知識と興味を生じ、家族との関係も良好に保たれ、退院普通学校復帰後勉学に遅れを生じていなかった。復帰当初は運動、給食等何らかの制限が加えられ患児は学校行事に一緒に参加出来ず、友達と遊べないと悩み一部に先生や友達が生活制限の必要性を理解してくれないと訴える者もあった。

復帰した普通学校に養護教諭の居ない者は3名のみであったが、退院時の医師の指示は大部分(17名) 担任に渡され養護教諭直接は2名のみで学校に全く伝えていない者が5名もあった。養護教諭に何らかの 形でも連絡をとった者は1●名に過ぎず具体的に相談した者は2名,今後相談の希望を有する者は6名の みで養護教諭に対する期待は低かった。

患児の保健管理上の問題点の根本は、病院、養護学校、患児及び保護者と普通学校間の連絡が充分に流れていない点にあり、この流れを改善することによって患児の不必要な肉体的、精神的負担を軽減することが可能と思われた。

従って養護学校は有用であり全国各地に増設が望ましい。又今後は養護教諭が窓口となって四者間の連係を密にし子供の生活を見守っていきたいと思う。

1般-6)成人病検診における血圧管理特に境界域高血圧者について

秋田県立能代高等学校養護教諭 〇加 賀 淑 子 千葉大学教育学部看護課程 松 岡 淳 夫 市原市健康管理課保健婦 田 丸 志づえ

渡 辺 行 栄

惠美子

H

わが国における死因の第1 位にある脳血管障害の最も高いRisk factorとして、高血圧症があげられる。このため地域保健活動の中で行なわれる成人病検診の重要な項目として、血圧測定を主軸とした循環器検診が活発に行なわれている。この場合WHO規準に従ってスクリーニングされ、高血圧症群に対し管理が進められているのが現状である。しかし、高血圧症の発生が、境界域群から移行する者が正常血圧者の2倍以上であるということ、また脳血管損傷の発生が、正常血圧者の約5倍の頻度がみられることから、この境界域高血圧群に関する管理は無視出来ないものであると考える。

私達は千葉県市原市において,肥和51年度成人病総合検診成績から,市原市において脳血管障害による死亡率が最も高い地区である南総地区,加茂地区の対象383名を抽出し,高血圧群,境界域群,正常群の3群に分けて検診成績,生活固子との関連をみると共に,境界域群96名中52年度検診受診者67名につき,検診検査成績と血圧値の変動を比較検討すると共に追跡調査を行なって,高血圧検診における境界域群の管理上の意義を検討した。

この結果年令を増すと共に、特に男で高血圧群、境界域群の占める率が増し、肥胖者に多く、諸成績の 異常が高血圧群にみられることが明らかとなったが、境界域群も高血圧群に準じて異常のみられる者が多 かった。即ち、境界域群は高血圧症予備群であることが明らかになった。そして境界域群67名の52年 度成績ではS. P. については64名中14名、 D. P. については17名中3名が高血圧群に移行し、一方 正常域となった者はS. P. では18名、 D. P. では8名であった。この変動との関係は、年令が50才代 以上では高血圧群へ、以下では正常群への移行傾向がみられている。しかし、51年度検査値と52年度 の諸値との比較では、血圧上昇群で、特に異常値への移行がみられるという状態はなく、体重を含めて減 少又は正常値域に止まっていた。しかし、有訴状態は、高血圧移行群に循環器、呼吸器、泌尿器系症状の 有訴率が増加傾向にあった。また食餌嗜好についても「油っこい物を好む」者の中に高血圧群への移行が 多い傾向がある。一方、高血圧移行の20名中15名は何らかの食餌制限を行なっており、また塩類制限 をしていた28名中11名が高血圧に移行している。

以上から高血圧予備群と恒置づけられる境界域群とを数回の血圧測定を中心とした保健管理と指導が重要なことが明かとなった。

これらの症例の追跡調査を加えて、地域保健活動における血圧管理に境界域群に管理の視点を置くこと の重要性を述べたい。

1般-7)糖尿病の教育入院を考える

千葉大学教育学部看護課程 〇山 ロ 桂 子 筑波大学附属病院看護部 田 代 順 子 小 池 とし子 野 本 ト モ

糖尿病の治療においては、患者自身とその家族に対して、患者の病状を正しく認識理解させ意欲的に治療にとりくませることが、第一に不可欠な条件であることは、これまでにも多く言われてきたが、今日、我々は理解力に乏しく闘病意欲の少ない一症例の教育入院を通して、糖尿病の患者指導の方法及び技術とその効果について再考する機会を得たので報告する。

I 症例紹介

思者: S. K 4 3 才 男性。

学歴:小学校卒。5年前発症の成人型糖尿病,経口糖尿病剤にて治療中であったがコントロール不良のため当院受診。入院后,食事療法とインシュリン療法にて徐々にコントロール良好となる。 (詳しい経過は省略)

Ⅱ看護の展開

- 1) 当病棟既成の手順にそって指導開始するも意欲なく理解力にも乏しいため効果があがらず,スタッフ側も意欲をなくし,指導を断念しかける。
- 2) カンファレンスにて,指導内容を個別的なものにする必要があると判断,検討の結果,指導項目を本人に対しては,食事療法とインシュリンの注射法,家族に対しては食事療法のみにしばり,単純模式化して反復指導をくり返した。
- 3) 退院に向けて、退院后の冒常生活の注意、外来通院の重要性を説明、また 2)の指導内容の中で不充分な点をチェック、退院后も外来通院時に病棟スタッフが継続して指導にあたることとする。

Ⅲ 評価及び考察

- ① 教育を目的とした入院患者の場合,理解力の程度をより早期に把握し,いかに適切な指導計画をすすめていくかが指導効果を決定する大きな要因となることを再認識した。そのため入院時に簡単なテストを行なうなどして,できるだけ早くその患者の能力を知っておく必要がある。
- ② 理解力が乏しいことに対しては、指導内容の模式化、単純化、反復等によりある程度の効果が得られたが、その中で実際的な技術の習得に此べ概念的な説明の理解はほとんどされていない。これらの点については、より視聴覚に訴える形での工夫が必要であろう。
- 自覚がなく闘病意欲の少ない患者に対しては、治療を続けるための動機を持たせることが可能であるような具体的なアプローチが必要である。

1般-8)急性骨髄性白血病患者の看護をとおしての一考察

鹿児島大学医学部附属病院 ○東 サトエ

臨床にはいり一年余がたつ。教育の場では思うように対象に接することができずに臨床にはいる決意を したが、多忙な現状の中で科学的な目で対象をとらえ、その人にあった看護を展開してゆくことがいかに むずかしいかを痛感しているこの頃である。しかし、多忙であることを理由に、多くの体験を単なる体験 に終わらせていたのでは、次に同じような場面に遭遇した時にまったく応用されないばかりか、看護に対 する意欲はますます失なわれてゆくものと思われる。どのような小きな体験でもそれを過程としてみつめ、 どのような構造をもってすすんだかを分析してみることによって、次への進歩があるものと考える。

就職して数ケ月は自分の力のなさによって、患者にマイナスの園子を与えることのないように、自分のできることと、できないことを区別判断し、看護することに重点をおいていたが、次第に患者を総合的にとらえ、その人にあった看護をめざす方向に注意が向くようになってきた。

ここに、一般病室においてガウンテクニックを行ない、緩解期をめざしてとりくんだにもかかわらず、 入院後約1.5ヶ月にて死亡に至った急性骨随性白血病患者の看護をとりあげ、疾患のとらえ方はこれでよいのか、患者の反応は十分に把握できているのか、また、両者から得られた情報をもって予測をたて、工夫して計画をたてて展開していっているのか等、種々の角度から検討を加え、日頃の看護のあり方を反省し、次の看護に役立ててゆきたい。また、皆様の御指導をあおぎ、更に理解を深めてゆきたいと思う。

1般-9)臨床における看護過程の分析

不満の多い患者へのアプローチ

熊本大学医学部附属病院 〇正 村 啓 子 第1外科病 棟 看 護 婦

臨床経験を積むにつれて真の意味での看護する力を深めたい、そういう意図のもとに、毎日の看護実践の中から、患者の看護がうまく展開した例や、なかなか看護の進展がないような事例をとりあげて、過程分析を行なっている。

過程分析 I(看護過程を見つめる),過程分析II(「立ち場の変換が自在にできるようにする)をおこない,さらに私の看護がなぜ看護でありえたか,ありえなかったかを明確にし,その中にある論理をつかむということを試みている。

症例は63才の女性で食道癌の患者である。二■に分けて食道再建術が行なわれた。第1■目の手術で食道切断術と胃瘻造設術を受けたが、類部の食道開口部からの唾液の流出や胃瘻よりの栄養法で経口摂取ができないことによる苦痛、開胸術による背部の創痛、また次の手術に対する不安などから、看護婦に様々な形で感情をぶっつけ、看護援助を仲々受け入れてくれなかった。術後の経過としては、特別な異常はみられず、現在は、第2■目の手術(食道再建術)に向けて、体力を増進させる時期であった。手術によって乱された生活過程を整え、生命力を増強しなければならない。この患者に対して看護援助の必要性を再認識し、ケアーに取り組んだ。患者の反応をみながら、生活過程の一つ一つを整えていくうちに、患者の苦痛や不安も軽減し、明るい表情で、2■目の手術に対する積極的な態度がみられるようになり、栄養状態も良くなってきた。そして第2■目の手術後は、これまでのよい人間関係もあってスムースに看護援助が展開できた。

この看護過程を分析した結果,「手術によって乱された生活過程に対する生活体の反応を整えようとするとき,生物体としての条件をおさえながら,その人の立ち場に立って援助したことにより,よい看護援助が展開できた」ということが言える。

さらに、これからもこのような看護過程の分析をおこないながら、真の意味での看護する力を深めてゆ きたい。

1般-10) 術後経管栄養法に関する研究

熊本 大学 医学部 附属病 院 〇池 1 緑 鹿児島大学医学 部附 属病 院 重 村 由美子 南商業高 校 栗 原 保 子 熊本大学教育学部 Ш П 公 代. 熊本大学医療技術短期大学部 城 麙 子 熊本大学医学部 守 孝 .A

術後栄養補給の方法には、経口的栄養法、経腸的栄養法、避腸的栄養法に大別させる。なかでも、経口 摂取がもっとも生理的な栄養補給経路であることは当然のことだが、手術直後の時期や手術の種類によっ ては、経口摂取が不可能な場合があり、経管栄養や経静脈栄養に頼らざる得ない場合も多い。

経静派栄養、特に中心静脈栄養は近年急速な研究、発展を見て、大いに術後の栄養補給にも役立っているが、長期間の施行には問題点が多く、胃腸管よりの消化吸収の助けをかりない栄養補給法の難しさから、 逆に手技、手順が簡単で、感染などの問題もみられない経営栄養法が再認識されてきている。

私達は術後栄養の中でも特に経管栄養法を中心に、副作用やその原園、対策にどの様なものがあるかという点にしばって検討してみた。文献によれば、経管栄養における副作用には経管栄養における副作用には経営栄養食注入によるものと、チューブ配置によるものとに分けられ前者の主なものに、腹満感、下痢、後者の主なものとして、咽頭痛、異物感などがあげられる。これらの副作用を軽減するために、様々な対策が講じられて実施されているが、具体的な実験報告をしている文献が少なく、そのため対策の中でも判然としない部分が多かった。

このようなことから、私達は、経管栄養時にもっとも起こりやすく、息者にとって身体的、精神的に負担が大きく、苦痛が強いと思われるこれらの副作用を、少しでも軽減して、患者に経管栄養を無理なく順調に施行することが出来れば、術後の創傷治癒促進、体力回復のために重要なことであると考え、看護者の立場からのアプローチを試みた。

その結果、私達は、まず従来の病棟で行なわれているイリゲーターでチューブに直接点滴注入する方法でなく、イリゲーターとチューブの間に、速度と温度を一定にするためのフードポンプと加温器をセットして使用した。そして、腹満感と下痢の対策として、文献でも報じられ、また病棟でも実施されている方法、すなわち、できるだけ注入速度を低速にするという点に着眼し、その注入速度に対する再検討をした。また、健康時の食生活を振りかえり、それに近い形で食間を設けるということを、実際に患者に試みたところ、ある程度の好成績を得たのでここに報告する。

1般-11)上顎癌術後の疼痛を訴える患者への看護活動について

千葉県衛生専門学院 〇宮 腰 **由**紀子 千葉大学教育学部看護過程 松 岡 淳 夫

疼痛に対する看護活動については、既に多くの論文が蓍されている。特に癌による疼痛に対しては、様々の見解が発表されている。上顎癌の場合の疼痛は、多くは「歯痛、歯肉痛」という訴えの型で表わされるが、この疾患は早期発見により、30~70%の生存率を示す為、腫瘍摘出術後に残存する疼痛との闘いが長

期に及び、患者の生活上、大きな影響を及ぼしている。かなり予後不良の場合には、積極的な鎮痛策が採られる場合が多いと思うが、上顎癌の場合、発生の多くが中年の一家の柱となる人々であること、前述のように、術後痛が生活上影響を及ばすことから、疼痛に対して安易な鎮痛策を用いることは出来ないと思われる。

今回,ほぼ同時期に上顎瘍患者5名が入院し,相前後して腫瘍摘出術を受けた。

疼痛の訴え方に術前から差異がみられた為各人の性格によるものと考え、矢圏部・ギルフォード性格検 香を実施し、それに基づき、術後の疼痛の出現を或る程度予測し、看護計画を立案した。

術後は、24時間表による鎮痛剤の使用頻度と鎮痛方法の利用頻度を調査すると共に、訴え方について、 看護記録やテープレコーダーによる会話の記録を基に分析を行なった

数名については、外来においても追跡調査を行なった。

その結果、2・3の知見を得たので報告する。

1般-12) 小児の術前オリエンテーションに関する研究

村 宏 子 貝 谷 裕 美 弘前大学教育学 〇木 部看護学科教室 明 石 泉 木 光 子 鈴 大 串 靖 子 JII + 溍

| 緒 言

小児の術前看護において,手術に対する不安や恐怖をとりのぞくことは,術後の看護および治療効果にまで好結果をもたらすと推論できる。従来の小児の術前オリエンテーションについては,年齢に応じて,わかる言葉,範囲で説明すれば良いとされているのみで,子どもの日常生活の中で,手術の合理性を子どものレベルで如何なる方法で教えることが大切であるか,ということを,取りあげた研究はみあたらない。そこで,映像文化の中で育った現代の小児に対して,手術の必要性,重要性を,視覚に訴える紙芝居を作り,術前のオリエンテーションる試みその効果を検討した。

Ⅱ 研究方法

小児病棟に入院している4才~10才までの手術を受ける小児55名を対象に、試作の紙芝居を用いて術前の絶食 前投薬の必要性、術中の状況、病棟への帰室、手術後の一時的苦痛術後合併症の予防、回復期の状態、退院前の心がまえなどについてオリエンテーションした。同時に、実施時の反応および手術当日の深呼吸、咯痰咯出状況、口喝の有無、点滴注射時の反応などを、対照群と比較して観察した。さらに手術後3日目に、現れた心理的反応を観察し、それぞれを得点化して検討した。

Ⅲ 成 續

得られた成績を箇条書すると,

- 1. 試作の紙芝居による術前オリエンテーションは、各年齢層に有効であると判断された。
- 2. とくに試作の紙芝居による術前オリエンテーションは、就学前小児にとっては、非常に興味を持たせ、効果的であった。
- 3. 深呼吸, 喀痰喀出練習の指導では, 年齢が低いものほど効果的であった。
- 4. 口渇,点滴脈内注射に対する反応は,術前オリエンテション実施群とでは差はみられなかった。

- 5. 手術後の心理的反応や混乱は、術前オリエンテーションを行なわなかったものに強かった。
- 6. 以前に手術経験のある小児では、術前オリエンテーションの効果はあまりなかった。

結 語

以上の**成**績より、小児の手術に対するオリエンテーションは、従来までの口頭による説明に加えて、 紙芝居などの視覚に訴える方法を用いると、年齢に応じた理解がより深められ、より効果的であると結論 できた。

1般-13) 術後訪問をしての一考察 (統前オリエンテーションの評価)

筑波大学附属病院看渡部 〇田 中 久美子 花 坂 礼 子 益 子 秀 子

筑波大学附属病院では、曜和51年10月開設以来、P. P. Cを取り入れた看護体制をとっている。病棟は、セルフケアー、普通ケアー、集中ケアー、小児、母性に分類されている。このP. P. Cの主旨にそい思者はその時々のニードに応じたケアーを受けらえるよう、病棟が選択される。例えば、手術後の全身管理の必要な時期には集中ケアー棟へ、糖尿病の教育入院の場合は、教育的色彩の濃いセルフケアー棟へ、あるいは疾病の急性期で集中的に安静の必要な場合などは普通ケアー棟へ・・・という具合である。

その中で手術患者に注目すれば、一番典型的な流れは、セルフケアー棟へ精査目的で入院し、そこから 手術へ出て術後は集中ケアー棟へ、回復するに従い普通ケアー棟、セルフケアー棟へと移り退院を迎える。 このように必要なケアーを受けるために、患者自身が移動をするわけだが、患者側からみても、看護側か らみてもこの移動(転棟)は種々の問題をかかえている。患者側では、転棟を拒絶するなど新しい環境に 対する不安があったり、転棟先で訴えが正しく受けとめられなかったりする現状がある。看護側でも、転 棟に際し看護婦間の連絡を密にしなければ、患者の人となり、あるいは問題点を早期に把めず、ケアーが 継続的に実施できないという現状もある。

そこで今回,私達は,必ず転棟を**伴**なう手術患者に着目した。上記のような現状をふまえて,現在その 術前オリエンテーションには力を入れている。しかしオリエンテーションを実施した者が,術後も担当す るということはあり得ないので,果たして自分の行なってきたことが生きているかどうか確められないし, また評価を受ける機会も少ない。仮にオリエンテーションに問題があっても,集中ケアー棟の看護婦がそ こにまでさかのぼって原因を探るという機会は少ないのが現状である。

そこで、現状行なっている術前オリエンテーション項目が効果的であるか、真に患者の要求にみあった 導きがなされているかを検討したいと考えた。今回は、セルフケアー棟に入院している手術を控えた患者 に現行のオリエンテーションを行なう一方、術前、術後において面接と質問紙法により、その効果を、患 者側、看護側で評価をした。そして、今後の術前オリエンテーションの指針となる結果が得られたので報 告する。

徳島大学教育学部●野島良子千葉大学看護学部大学院 井上智子

乳房切断術を受けた女性の多くは身体像の急激な変容に直面して悩む。その理由は、乳房が女性らしさ、 母親らしさのシンボルとしての意味を有するからであるとみなされている。

本研究では、健康な若い女性が乳房に対して抱いているイメージをSD法によって測定した。

1般-15) 眼球摘出術後の母児への外来での援助

千葉県衛生専門学院●宮 腰 由紀子 千葉大学教育学部看護過程 阪 口 禎 男

小児看護上,留意すべきことは、健康障害をその児の成長過程の中で把握し、出来る丈良好な環境を作り上げるように配慮することであろう。その為に、母親に正しい援助を与え年令相応の保育が行なわれるようにすることがかなりの量を占めてくる。

特に悪性腫瘍の小児の看護にあたっては、進行が早く、予後不良な場合が多いが、最終的に母親が出来る丈の手を尽したという満足感が得られるように援助する必要があると言われている。

しかし、治療が効を奏した場合、その後は長い慢性期の闘病生活に入り、常時、再発の恐れと対面させられることになる。時としてこの緊張状態から逃避したいと思う母親が出現し、児に冷たく接したり、医療側へ反抗的な態度をみせることがある。その場合、家族の協力が得られるよう指導すると其に、母親の不安を理解し、相談相手となり乍ら、児の為に良好な環境を整える努力が看護婦には必要となって来る。これからは、慢性期の多い外来で多く為されることである。

2才で、神経芽細胞腫と診断され眼球摘出術を受けた後、3才より再発し外来で化学療法放射線療法を受け、現在は経過観察の為に通院している5才の女児と、その児に対し、かなり冷たい接し方をしている母親に接する機会を得た。当時、恵児はやゝ情緒不安定症状をみせていたが、母児関係の改善で解決する事と考え、前述の原則を基に、母親に対して援助を行なったところ、良好な結果が得られた。そこで今後の看護に役立てる為、外来看護記録上から、問題解決に至る経過を、検討したので報告する。

1般-16) 就労と母性――卒業生の就業状況からみた看護職と母性

国立国府台病院附属看護学校 伊藤 淑子 山形県天竜市立第 2 中学校 〇田 中 洋子 千葉大学教育学部 草刈淳子

1 はじめに

昭和30年以降の女子労働人口の増加に伴って,経済社会における女性の役割も増大してきているが,女性の就労パターンは男性のそれとは異なり,特有の型を示し母性に伴う問題が就労に大きな影響を与

えていることをうかがわせている。また女性特有の就労パターンも職種により相違のみられることが一 部報告されており、職種のもつ特異性が就労とのからわりをもつことが示唆されている。

そこで看護職における就労パターンの特色及びそこに関る母性に伴う問題に焦点をおさ、就労への影響について調査検討することを冒的に本調査を行なった。

2 調査対象

三年制看護学校卒業生 782名 四年生大学看護課程卒業生 95名

- 3 調査方法 郵送によるアンケート調査
- 4 回 収率 57.6%(453名)うち有効数440名(55.9%)
- 5 調査結果及び考察

就業率は7 4.5 %で一般女子より高く,他の保健医療職との比較においては,薬剤師と類似した年齢 階層別曲線を示した。

結婚年令・出産年令・有配偶率と就業曲線との関係の比較においても、明らかに一般女子のライフパターンとの相違が認められ、退職を考えながらも退職する者が比較的少ないことを示唆している。

一方、退職理由及び再就職時の障害の調査においては、様々な要因が退職を考えさせ、就労の障害となりながらも、特に母性に伴う問題が就労に大きく(一)の影響力をもつことが判明し、母性保護措置、育児及び保育所問題への対策の不充分さをうかがわせている。

今日、婦人の就労は単に家計維持を目的とするのみならず、積極的な社会参加を目的とする主体的選択によるものへと変貌しつつある。したがって、看護職における職場での母性保護及び育児の保障についての対策の充実は、看護の真の質的向上、さらに専門職としての看護の発展に必らずやつながる重要な課題であると考える。

1般-17) 新生児沐浴槽の細菌汚染とその消毒について

神戸大学附属病院 ○ 藤 本 洋 子 広島大学附属病院 ○ 藤 井 愛 子 兵庫県灘中学 校 柚 木 洋 子 徳島大学教育学部 内 輪 進 一

新生児室内は病院内でも細菌の最も好適な増殖環境となりやすいうえ、新生児は抵抗力が弱いので常に 院内感染の急険性をはらんでいる。今回、われわれは、新生児をとりまく環境内での病原菌の伝播経路を考 え、新生児には必須のものとされている沐浴を行なうための沐浴槽の細菌汚染ということにスポットをあて、 徳島市内の3つの総合病院新生児室に於ける沐浴槽内壁、排水口、沐浴終了後の湯、沐浴用具、看護婦の 手指、新生児糞便およびおよび空中落下菌の細菌学的検索を行なった。またその結果にもとづき、院内感染 予防の対策についての実験を行ない、次の結論を得た。

1. 排水洗浄後の沐浴槽内壁から、沐浴終了液よりはるかに高率に、縁騰菌、黄色ブドウ球菌、グラム陽性球菌、グラム陽性桿菌、グラム陰性桿菌が検出された。このことから、新生児の細菌汚染が沐浴槽を介し、次に沐浴する新生児へ移行する可能性が考えられた。

- 2. 以上の方法として殺菌効果の確実性,経済面などから70%以上の熱腸消毒法が最適と思われた。
- 3. 1 児毎の沐浴槽の熱湯消毒法と平行して、新生児を扱う看護婦の手指および沐浴槽洗浄用スポンジ、 ブラシについても1 児毎の完全な消毒が必要と思われた。

監修 森山 豊

企画制作協力

日母幹事会 その他

看護シリーズを 2 巻加えました...... 新たに



第 II 期 (5) 看護婦さん一勤務上のマナー 一(新作)

ユーモラスなコントを主体に、マナーの基本を解説、「看護婦さんのマナーが、医療に どんな影響を及ぼすか」を考えさせて「心づかい」の大切さを訴えます。

○受付・待合室での応待 ○電話の応待 ○身だしなみ ○診察室・処置室・手術 室のマナーと確認業務 ○心のこもった一言 について (19分)



第Ⅱ期⑥救急処置一ナースのための基本的実技一(新作)

敏速・適切な救急処置を行う為の 正しい知識と手順を満載した 看護婦さん向けの ビデオ版教科書。実写・イラスト等で予習・復習できる本編は、産婦人科は勿論、看 護にあたる人すべてに見て頂きたい作品です。

○気道確保 ○人工呼吸 ○循環保持 ○静脈確保(静脈切開) ○輸液・輸血 ○導尿 その他の処置 (23分)

第 I 期⑩新生児の取り扱い方(52.4完成)

●娩出直後の取り扱い ●新生児室内における看護―出生24時間以内とそれ以後の観察・保育 ●原始反射 ◎授乳・沐浴・おむつ交換の実際と産婦指導のポイント ◎異常所見 ◎退院時の指導 (25分) 第 I 期间分娩介助(52.1完成)

直腸診・剃毛・消毒・導尿から胎児娩出を経て、胎盤測定、清拭に至る介助の全てを実写により解説。会陰保 護等の手技がよく分り、分娩機転、胎盤剝離等がアニメで説明されているので理解しやすいと産科看護学院・ 病院で好評 (25分)

第 1 期⑫新生児異常の見方(52.7完成)

呼吸器系・循環器系・消化器系・神経系・その他(外傷・黄疸・表在性奇形・先天代謝異常・染色体異常)に ついて、異常症例の実写を多く集め、異常の早期発見の手がかりを与える、新生児看護に欠かせぬ話題の力作 (26%)

-第Ⅰ期 12巻 カラー 20~30分―

妊産婦シリーズ

安産教室

2 妊娠中の生活 3 出産

妊娠初期のこころえ

5 妊娠後期のこころえ

6 産後の生活とこころえ
7 妊娠中におこりやすい病気

8 新生児の育て方

受胎調節

産科要員シリーズ

10 新生児の取り扱い方

11 分娩介助

12 新生児異常の見方

指導

(松山栄吉・大村 清) (北井徳蔵・諸橋 侃)

(薄井 修・角田利一) (中嶋唯夫・松山栄吉)

(真田幸一・皆川 進) (前原大作・南雲秀晃)

(本多 洋・前原大作)

(山口光哉・久慈直志)

(大村 清・松山栄吉)

(大屋 敦・薄井 修)

(助川幡夫・角田利一) (水口弘司・中嶋唯夫)

·第II期 6巻 カラー 20~30分-

指遵

1 赤ちゃんの育て方 酒しか月からお誕生まで

2 子室がん

定期検診を受けましょう

楽しく・若く・美しく

4 遺伝と先天異常 健康な子を産むために

5 看護婦さん 勤務上のマナー

6 救急処置

カセット

ナースのための基本的実技

二木 武・松山栄吉 本多 洋・安村鉄雄

(水口弘司・有広忠雄) 松井幸雄

(前原大作・河上征治) 南條継雄

(大屋 敦・黒島淳子)

住吉好雄

(北井徳蔵・薄井 修)

/山口光哉・市川 尚 野原士郎

ビデオカセット

● 12巻セット 揺払い

分割払い 月額

275.00011

25,000|1|×12|11| 27.50011 ビデオ

● 6 巻セット ・揺れい

150,000[1]

分割払い 月 額 26,500円×6回 ● 1 迄価格 ガインチ型カセット 27.500円

■ 1期11期全18巻

3/インチ型カセット 30,000円 分割払い月額 38,250×12回

■Ⅰ期Ⅱ期とも

1 卷価格 16ミリフィルム 各窓 100,000円

お申込は

〒103 東京都中央区日本橋3-7-20ディックビル TEL(03)-274-1751 毎日EVRシステム 〒530 大阪市北区堂島1-6-16毎日大阪会館 TEL(06)-345-6606

* 看護の科学社・看護専門図書ご案内 *

看護記録を 真に実践に役立つものとすべく実践的検討事例を豊富に展開された必読書/

看護記録―看護過程にそった記録の提案

川島みどり 牛込三和子 木下安子 桑野タイ子 宮崎和子 著 B5判 170頁 定価1,600円 送料160円

臨床に 学習に 地域に あなたの看護実践を確かなものにする必備の技術書 1・2 集/

生活行動援助の技術

「看護実践の科学」に連載1年、看護界に衝撃と感動をよんだ手記!問いつめた看護とは!

看護本来の姿とは ―妻の死に考える

富沢 賢著 四六判248頁 定価1,200円 送料160円

東京看護学セミナーが一貫して収集・研鑽をつづけてきた事例検討の現時点での集大成!

事例を通して考える看護 桑野タイ子 著

A 5 判 280 頁 定価 2,000 円 送料 160 円

看護の学習こそ学生が主体的に学びとっていくものと考えぬいた教師のめざましい成果!

気づきと学びの看護 ―ある看護教育実践記録

久保智代恵・小野寺綾子 著 A 5 判 190 頁 定価 1,500 円 送料 160 円 精神科看護に長いキャリアの著者が 臨床実習のため実に具体的なテキストとして執筆!

精神科臨床指導の実際 神郡 博著

A 5 判 138 頁 定価 1,200 円 送料 160 円

今日からの看護学習・看護実践に役立ち 明日からの確かな基礎をきづく大好評必携書!

疾患別看護計画のための基礎ノート

[付] 治療処置・看護の基礎知識

安川千代子 著 B 5 判 350 頁 全表形式 挿入図 120 定価 3,500 円 送料 200 円

続:疾患別看護計画のための基礎ノート

[付]治療処置・看護の基礎知識

安川千代子 著 B5判375頁 全表形式 挿入図105 定価3,500円 送料200円

看護の科学社 東京都豊島区北大塚 2-2-13-201 5 170 (03) 917-7901 振椿 東京 0-43439

総 会 議 事

議長 村 田 栄 会長

議

- 1. 53年度決算について
- 2. 5 4 年度予算について
- 3. 四大学看護学研究会、奨学会の発足について
- 4. 会則変更について
- 5. 世話人の増員について
- 6. 次期会長について
- 7. その他

——— 報告事項 —————

- 1. 雑誌編集委員会の設置
- 2. 雑誌投稿規定を設けた。
- 3. 前会長村越康一殿より寄付を受けた。

昭和53年度決算報告書

収入の部

事務局責任者 松岡淳夫

項 目	予算額 (A)	実収入額(B)	増減(A-B)	備 考
年 金 費	4 0 0,0 0 0	3 7 6,0 0 0	△ 24,0000	会員 2 0 1 名 1 3 名未納 26,000円
52年 度 繰 越 金	1 7,3 2 3	1 7,3 2 3	0	
雑 収 入	1 0,0 0 0	3 0 6,3 5 1	2 9 6,3 5 1	総会号印刷費 185,000円納入 第4回研究会総会余剰金126,351円
雑誌広告料	5 5 2,0 0 0	5 0 0,0 0 0	△ 52,000	1 祉未納 1 6,0 0 0 円
別 刷 代 金 (実 費)	0	5 5, 2 0 0	5 5,2 0 0	Vol 1. Ma2 8名 Vol 2. Ma1 2名
計	9 7 9,3 2 3	1,2 5 4,8 7 4		未収 4 2.0 0 0 円

1,254,874+42,000=1,296,874

支出の部

項	目	予算額(A)	支出額 (B)	増減(A-B)	備考
会報印刷	」費	6 0,0 0 0	6 0,0 0 0	0	会報ℳ3,ℳ4
世話人会議	護費	1 0 0,0 0 0	9 1,2 6 7	8,7 3 3	定例会(千葉)手当5,000×12名 臨時会(東京)手当
事 務	費	1 0,0 0 0	6,240	3,7 6 0	
人件	費	6 0,0 0 0	0	6 0,0 0 0	 事務担当佃氏が奉仕作業をした
第 4 研究会補	回動	5 0,0 0 0	5 0,0 0 0	0	千葉大学へ
雑誌印刷	費	8 4 0,0 0 0	1,1 8 0,0 0 0	△ 340,000	Vol 1. 16.2
別刷印刷	費	3 0,0 0 0	5 7,5 5 0	△ 27,550	Vol 1. M2 8 名分 Vol 2. M1 3 名分
郵送	料	5 0,00 0	1 0 7,6 8 0	57,680	会報 2 回,雑誌 3 回分
· 計		1,2 0 0,0 0 0	1,5 5 2,7 3 7		

収入 1,2 9 6,8 7 4 - 支出 1,5 5 2,7 3 7 = \triangle 2 5 5,8 9 0 \triangle 2 5 5,8 9 0 円 5 4 年度繰越

昭和54年度予算書(案)

収入の部

項	目		収入予算額	備考
54 4	年 度 会	費	7 8 0,0 0 0	2 6 0 名 3,0 0 0 円 会員前年比 6 0 名増
寄	付	金	1 5 0,0 0 0	2 社より 100,000+50,000(予約)
雑誌	広 告	料	4 8 0,0 0 0	16,000×10社×3号(Vol 2. Ka2 総会号Vol 3. Ka1)
繰	越	金	△ 255,890	前年度赤字繰越
₹	Ø	他	1 0 0,0 0 0	第5回総会,研究会負担 (プログラム,抄録集号印刷費として)
	計		1,254,110	

支出の部

Ī	Ą		E	1	支出予算額	備考
会	報	印	刷	費	6 0,0 0 0	Na 5 , Na 6
世	話ノ	人会	議	費	1 0 0,0 0 0	定例(徳島) 50,000 臨 時 50,000
事		務		費	1 0,0 0 0	封筒、帳簿等講入、その他
人		件		費	5 0,0 0 0	2.500円×20日分
研	究	会	補	助	5 0,0 0 0	徳島大学看護課程(第5回・当番校)へ
雑	誌	印	刷	費	1,1 00,0 00	Vol 2. %2 450,000 Vol 3. %1 450,000 総会抄録集号 200,000
郵		送		料	1 0 0,0 0 0	雑誌3回,会報2回
		計			1,4 7 0,0 0 0	

1,25 4,11 0 - 1,47 0,00 0 = <u>△ 21 5,8 9 0</u> 支出予算 収入予算

四大学看護学研究会奨学会規定(案)

第1条 (名 称)

本会を四大学看護学研究会奨学会(四大学研究奨学会と略す)とする。

第2条 (目 的)

本会は四大学看護学研究会の事業の一つとして、優秀な看護学研究者の育成のために、その研究費用の一部を贈与し、研究成果により看護学の発展に寄与することを目的とする。

第3条 (資金)

本会の資金として、前条の目的で本会に贈与された資金を基金とし、その金利をもって奨学金に当てる。

会計年度は10月1日より翌年9月30日までとする。

第4条 (対象)

四大学看護学研究会員として1年以上の研究活動を継続している者で、申請または推せんにより、その研究目的、研究内容を審査の上適当と認めた者若干名とする。

- 2. 奨学金は対象研究課題の1年間の研究費用に充当するものとして贈る。
- 3. 研究が継続され、更に継続して奨学金を希望するものは、改めて申請を行うこととする。

第5条 (義 務)

この奨学金を受けた者は、対象研究課題の1年間の業績成果を次年度四大学看護学研究会総会において口頭発表し、更に四大学看護学研究会雑誌に論文を掲載し公刊する義務を負うこととする。

第6条 (罰 則)

奨学金を受ける者の負う義務を怠り、また四大学看護学研究会会員として、その名誉を甚しく毀汚する行為のあった場合は、査問の上、贈与した奨学金の全額の返還を命ずることがある。

第7条 (委員会)

本会の運営,審査等の事業にあたり,四大学看護学研究会世話人会より推薦された若干名の委員によって委員会を設ける。

- 2. 委員会に委員長を置き,本会を総務する。
- 3. 委員会は次の事項を掌務する。
 - (1) 基金の財産管理及び四大学看護学研究会長への会計報告
 - (2) 奨学金授与者の撰考,決定及び会長への報告
- (3) 授与者の義務履行の確認及び不履行者の査問, 罰則適用の決定及び会長への報告 第8条

奨学金を授与する者の撰考規定は委員会において別に定め、会員に公告する。

第9条

本規定は昭和54年9月25日より発効する。

第5回四大学看護学研究会会長

村 田 栄

四大学看護学研究会々則

第1条 (名 称)

本会は四大学看護研究会と称する。

第2条 (目的及び活動)

本会は熊本大学,徳島大学,弘前大学,千葉大学の教育学部特別教科(看護)教員養成課程(四大学と称す)を申心として,広く看護学研究者を組織し看護学の教育,研究の進歩,発展に寄与することを目的として次の活動を行なう。

- 1) 会員の研究発表会の開催
- 2) 学術講演会の開催
- 3) 会員の研究業績の公刊
- 4) 関係学術団体との連絡,提携
- 5) その他目的達成に必要な活動

第3条 (会 員)

会員は本会の目的に賛同し、世話人または既に会員である者の推せんを得て、所定の会費を納入した、 看護学研究者を以って会員とする。

第4条 (世話人会)

本会の運営に当って次の規定に従って世話人若干名をおき世話人会を組織する。

- 1) 世話人の選出は会員の互選による。
- 2) 世話人の任期は2年とし再任を妨けない。
- 1),2) 項を停止し当分の間次の漸定規定とする。(昭和53年9月総会) 現世話人を永続させ、世話人に欠員が生じた場合、増員の必要ある場合、叉は交代については世話人 会において審議し、総会において承認を受ける。
- 3) 世話人会は次の諸事項を分担する。
 - (イ) 企 画 (ハ) 連 絡 (ホ) 会計(予算・決算)
 - (ロ) 編集・発刊 (二) 渉 外 (へ) そ の 他

第5条 (会長)

本会の業務を総理し、代表するものとして会長をおく。

- 1) 会長は世話人会の推せんにより総会の承認を受けた者とする。
- 2) 会長の任期は1年とし再任は妨げない。
- 3) 緊急な場合,世話人会の決議により会長の交代をすることが出来る。

第6条 (会 議)

本会の決議、執行のために世話人会と総会を置く。

- 1) 会議の議事は出席者の過半数をもって決し、賞否同数の場合は議長が決する。
- 2) 会議における議事については議長は議事録を残さなければならない。

(1) 世話人会

- 1) 世話人会は会長が召集して総会の前に開催地で開催する。
- 2) 会長が必要と認めた場合臨時世話人会を召集する。
- 3) 世話人会は世話人の過半数が出席しなければならない。

(2) 総 会

- 1) 総会を毎年1回会長が召集する。
- 2) 世話人会の申し出があった場合,及び会員の過半数から会議の目的を示して総会開催の請求があった場合は会長は臨時総会を開催しなければならない。
- 3) 総会の議長は会長があたる。

第7条 (会計)

本会の運営は年会費及び本会の事業にともなう収入等による資金によって行なう。 会計年度は、年度4月1日より翌年3月31日までとする。

第8条 (会費)

会費は年会費3,000円と定める。(53年9月総会改定)

第9条 (会費滞納) (案)

会費納入が2年継続して滞った場合は会員の資格を失う。(昭和54年9月総会)

第10条 (事務所)

本会の事務所を千葉市弥生町1-33番地

千葉大学教育学部,特別教科(看護)教員養成課程内に置く。

第11条 (会則の変更)

会則の変更は世話人会の議を経て総会の決議によって行なう。

四大学看護学研究会世話人の増員について

徳島大学教育学部看護課程より、福井高明教授が、同大学歯学部教授に転出され、同課程には併任されておりますが、このため徳島大学より内輪進一教授が世話人として推薦されました。 世話人会の審議の結果、世話人の増員と内輪進一教授を世話人として了承を受けたい。

会長 村 田 栄

四大学看護学研究会雑誌投稿規定

- 1. 本会会員は誰でも**寄**稿出来る。其著者もすべて会員でなければならない。 ただし、編集委員会が依頼した原稿についてはこの限りでない。
- 2 1 編の最大制限枚数,および無料枚数(印刷経費を研究会で負担する分)は次の表に示す。

原	稿	種	類		制	限	枚	数		無	料	枚	数
論			壇	原稿用	紙 1	0枚((刷上	り約2頁)	原稿用	紙1	0枚	(刷上	り約2頁)
原			著	"	5	0 枚	("	10頁)	"	3	0枚	("	6頁)
総			説	"	5	0枚	("	10頁)	"	3	0枚	("	6頁)
そ	O.)	他	"	1	0 枚	("	2頁)	"		5枚(("	1頁)

(図表込み400字詰原稿用紙枚数)

原稿用紙は400字詰めで約5枚が1頁に刷り上る。

なお、図表は大きさにより異なるが、一般に1つが原稿用紙1~2枚に相当する。

- 3. 図表はB5抜方目紙にトレースしたものを提出すること。出来れば誌上原寸大とする。
- 4. 超過料金は刷上り1頁(原稿用紙約5枚)につき7,000円とする。
- 5. 投稿原稿には本文, 図表, 写真等すべての査読用コピー1 部を添えて提出すること。
- 6. 投稿原稿の採否は編集委員会で決定することとし、原稿は原則として返却しない。
- 7. 初校は著者が、2校以後は著者校正にもとづいて、編集委員会が行う。 なお、校正の際の加筆は一切認めない。
- 8. 原稿の郵送先は

千葉市弥牛町1-33

千葉大学教育学部看護課程内

四大学看護学研究会事務局宛

として、封筒の表に「四大学看研誌原稿」と朱記、書留郵便にて郵送すること。事務局では到着と同時 に受付票を発行する。

- 9. 著者の希望により下記代金で別刷を50部単位で印刷する。
 - 20円×頁数×部数

投稿者は別刷必要部数を,原稿正本表紙下段に朱記すること。

原稿執筆要領

- 1. 原稿用紙B5版横書き400字詰めを用いること。
- 2. 当用漢字, 新かなづかいを用い, 楷書で簡潔, 明瞭に書くこと。
- 3. 原著の構成は

I.著言(はじめに), Ⅱ.研究(実験)方法, Ⅲ研究(実験)成績, Ⅳ.考察, V.結論(むすび),

W.文献とし、項目分けは 1. 2.……, 1), 2),……, ●.②……と区分し、第1章第2節などは用いない こと。

4. 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを使用する。特定分野のみで用いられる単位、略号、符号や表現には計書きで簡単な説明を加える。

ローマ字は活字体を用い、出来ればタイプを用いること。m, Eq 等イタリック体を用いる場合は、その下に朱のアンダーラインを付すこと。

5. 図表,写真等は,それを説明する文章の末尾に(表1)のように記入し,さらに本文とは別に挿入 希望の位置を,原稿の欄外に[表1]のごとく朱記する。

表図は原稿本文とは別にまとめて,巻末に添えること。

6. 文献記載の用式

文献は本文の引用カ所の肩に^{1),2)} のごとく番号で示し、本文原稿の最後に一指して引用番号順に整理して記載する。文献著者が2名以上の場合は筆頭者名のみをあげ、——他とする。

雜誌略名は邦文誌では、日本医学雑誌略名表(日本医学図書協会編)、欧文誌では INDEX.

Medicnに従って記載する。

記載方法の例示

- ・雑誌 1) 大竹保代他:看護行動と放射線被曝について,四大学看研誌,1:(2),59~73
- ・単行本 1) **酒野一男:**看護教育の技法(第1版), 14~20, 医学書院, 東京, 1973
- · 訳本 1) Bromley D. K.: The Psychologyol Human Ageing, Allen Lane the Pengin press L.T.D 1974, 勝沼晴雄監訳, 高令化の科学, 76~92, 産業能率短期大学出版部, 東京 1976

7. 表 紙

原稿には表紙を付し、上半分に標題、英文標題(すべて大文字とする)、著者氏名(ローマ字併記)、 所属機関名(英文名称併記)を記入すること。

そして,その下に本文,図表,写真等の枚数を明記し,希望する原稿類別を朱記すること。 下半分に連絡用住所,電話番号を記入すること。

別刷希望者は、別刷と朱記のうえ、部数を明記すること。

8. 原著を希望する場合は, 250 語程度の英文抄録および, その和文(400 字程度)を付けること。 英文抄録はタイプ(ダブルスペース)とする。

☆報告事項3 資料

前会長村越康一先生よりの御寄付

前会長村越康一先生は本年4月1日をもって、千葉大学教育学部を定年退官されたした。

先生には昭和47年千葉大学医学部第一内科助教授から教授として教育学部看護課程に御就任以来,大学における看護教育の確立にその情熱を燃やされ,この四大学看護学研究会の発展にも御尽力頂いてきました。

この度、御退官に当り、千葉大学で行われました退官記念事業に各方面から先生の御業績に応えて拠せらられた拠金によって村越先生に贈られた退官記念品料のうち、188万3,250円を、先生は看護学発展のため研究者育成に役立てたいとの御意志によって本会に御寄贈下さり、世話人会と相談の結果、有難くお受けすることとしました。

そして,本会に此度,設立を御決定頂きました四大学研究奨学会の資金として,末永く先生の御意志を 体して活用させて頂くことゝします。

会長 村 田 栄

四大学看護学研究会

会 員 名 簿

(昭和54年6月末日現在)

氏		名	所 属	氏		名	所	屆	
			-	井	上	智 子	千葉大学看護学部	大学院	
		歷代	会 長	石	Ш	和 美	淀川キリスト教病	院	
١.	_	V	(第3回)昭和52年度	숙	平	さつき	鹿児島県医師会		
Ш	元	重 光	元熊本大学教育学部教授	五十	嵐	千賀子	弘前大学教育学部		
村	越	康 ~~	(第4回)昭和53年度 元千葉大学教育学部教授	伊	坂	光子	徳島大学医学部附		
<u></u>	_	274	(第5回)現会長	池	Ш	清子	// 教育学部		
村	田	栄	徳島大学教育学部教授	伊	藤	幸子	東京大学医学部保健学科看護学教室		
		tt i	括 人	五十	- 嵐	典子	東京女子医科大学	附屆病院	
		H. E		飯	塚	智子			
村	Ħ	栄	 徳島大学教育学部教授	池	£	緑			
伊	藤	暁 子	厚生省看護研修研究センター教務課長	池	知	酸朱代			
石][]	稳 生	千葉大学看護学部教授	石	井	節 子			
Ш	上	澄	弘前大学教育学部教授	市	田	広 子	神戸大学医学部附	屆病院	
木	村	宏 子	// 講師	飯	塚	万里	広島大学医学部附		
木	場	富 貴	熊本大学教育学部助教授	岩	崎	由喜子	大阪府立成人病セ		
佐々		光雄	# 教授	猪	下	光	徳島大学附属病院		
野	島	良子	徳島大学教育学部講師	7.13	'	70	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
福	井原	公 明澄 子							
削松	原 岡	度 于 淳 夫	一块人子有硬子部切织技 // 教育学部教授						
宮	临	和 子	// 教育于印教技 // 助教授	鵜	沢	陽 子	 千葉大学教育学部		
吉	H	時 子	厚生省看護研修研究センター長	内	海	湿 滉	// // // // // // // // // // // // //		
		, ,		内	輪	進一	 徳島大学教育学部		
		^		上	原	をする子	千葉大学教育学部		
		会	員 I	植植	野	秀子	広島大学医学部附		
秋	山	昭 代	 千葉大学教育学部	1,13	-,	,, ,	ZAZO CO ZO DENIO	,-3,1312 0	
麻	生	佳 澄	県立大分東明高等学校						
安	藤	瑞穂	名古屋保健衛生大学病院						
麻	生	ナミエ	厚生省看護研修研究センター	遠	藤	芳 子	 山形大学医学部附	屆病院	
雨	森	ひろみ	弘前大学附属病院	遠	藤	由美子	筑波大学医学部附		
相	内	せい子	//	江	П	千 恵	県立白石高校		
阿	部	千鶴子	日本鋼管病院	遠	藤	ひで子	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
天	野	美穂子		遠	藤	幸代			
明	石	泉	弘前大学教育学部						
安	部	孝 子							
- '									
				岡	田	和 子	 千葉市中央保健所		
石	村	由利子	川崎製鉄健康保険組合千葉病院	大	竹	久代	静岡県富士保健所		
- 五 +		千恵子	都立広尾高等看護学院	大	竹	保代	千葉県立ガンセン		
 礒	•	恵子	埼玉県立衛生短期大学	大	野	時 子	千葉大学医学部附		
石	Ш	稳 生	千葉大学看護学部	太	田	美智子	//		
猪	野	和子	千葉大学医学部附属病院	尾	崎	俊子	 熊本県立人吉高校		
出	田	美保	リハビリテーション回生会病院	大	谷	真千子	東京女子医科大学		
伊	藤	暁 子	厚生省看護研修研究センター	岡	田	宮 子	東京医科大学看護		
井	上	範江	熊本大学教育学部	小	野	登美枝			
井	Ш	さち子	熊本赤十字病院	緒	方	たづ子	 神奈川こども医療	センター	
今	村	りえ子	1	雄	西	智恵美			
	,,	, /L J	1	li		1.57	-1011/10		

氏		。名	所 属	氏	名	所 属
大	串	靖 子	弘前大学教育学部	向 後	美佐子	富里中学校
大	橋	くみ子	// 附属病院	小 林	冽 子	千葉大学教育学部
大和	1田	恵 子	県立黒石高校	小 島	操 子	// 看護学部
大	竹	登志子	都立老人総合研究所	小 松	美 智	大阪府立成人病センター看護部
大	森	久 江	千葉県立鶴舞病院附属高等看護学院	小山	衡 子	
				五反田	容 子	加治木女子高校
				木 場	富喜	熊本大学教育学部
				今	充	弘前大学教育学部
)11	野	雅資	東京女子医科大学看護短期大学	小 森	美 子	
加	約	佳代子	成田赤十字病院	古川	恵美子	
Ш	Ł	澄	弘前大学教育学部	小井田	裕 子	
河	類	比佐子	熊本大学教育学部	児 玉	千代子	
加	藤	悦 子	兵庫県立昌高高校	小 池	とし子	筑波大学附属病院
鎌	木	節 子	岡山大学医学部附属病院	200700000000000000000000000000000000000		
加	賀	漫 子	秋田県立能代高校			
金	子	啓 子				
河	瀬	松 美		坂 巻	妙 子	千葉県立ガンセンター
金	井	和 子	厚生省看護研修研究センター	佐藤	高 子	
蓴	西	裕 子	弘前大学医学部附属病院	斉藤	潤子	
貝	谷	裕美		斉藤	扶美子	千葉大学医学部附属病院
茅	島	江 子	千葉大学看護学部 	西前	洋子	鹿児島大学医学部附属病院
				佐藤	狼巴平	熊本大学教育学部
				佐々木	光雄	# 15 de
		<i>d</i> → →	ومدولا والمراجع المراجع المراج	佐藤	裕子	浜松市立高校衛生看護科
木	村廿	宏子紀美	弘前大学教育学部 	斉 藤	光市	山形県社会福祉事業団
北	村本	紀 美	// // // // // // // // // // // // //	佐安木	京 注 子	静岡県立盤田北高校
喜多	•	龍 子		左衛	洋 子 爱 子	八戸市立市民病院
古か	内	妙 子	滋前八子的 病的抗 徳島大学教育学部	音 藤	及 丁 節 子	
木	村	智恵子	18.40八丁孜日丁即	A 124	Eh]	
木	TI	節子	 厚生連高岡看護専門学校	500 P		
1	μ.	r da	/产业是间间指皮(特 3 T IX	Superior Control of Co		
				庄 司	孝 子	 山形大学医学部附属病院
				柴田	みえ子	//
草	川	淳 子	 千葉大学教育学部	島崎	みどり	 千葉市立蘇我中学校
熊	谷	久美子	松戸市立常盤平第二小学校	嶋村	欣 一	千葉県立ガンセンター
倉	持	享 子	筑波大学医学部附属病院	城	慶 子	熊本大学医療技術短期大学部
熊	谷	裕 子	-	島田	圭 子	
楠	田	正 子		志 村	典 子	埼玉県立常盤女子高校
				白 戸	久美子	
				志 村	淳 子	千葉県立鶴舞病院附属高等看護学院
玄	田	公 子	滋賀県立短期大学			
				杉山	倫 子	静岡県立磐田北高校
				菅 原	久美子	弘前大学医療技術短期大学

氏		名	所 屆	氏		名	所 . 属
鈴	木	光 子	弘前大学教育学部	徳	田	訓子	川崎製鉄千葉病院
				+	束	支 朗	山形大学医学部
				戸	111	康代	
				鳥	居	裕 子	杉森女子高校
世	戸	聖 子		塘	田	絹 代	熊本信愛女学院高校
瀬	尾	クニ子	徳島大学教育学部	泊		補 子	
関	根	龍子	厚生省看護研修研究センター	富	谷	晃 子	
						•	
玉	木	真 理		中	尾	道子	愛知県立短期大学
田田	辺	緑	田名部高校	中	島	紀恵子	
高	田	節子	徳島大学教育学部	中	神	真 弓	
高	森	由美子	北海道大学医学部附属病院	行	木	あさ	 千葉大学医学部附属病院
竹	花	和子		永	井	弘子	
忠	政	ひろ子		成	田	ハリエ	秋田県立大館桂高校
田	中	美津子		成	田	栄 子	
高	橋	しげ子		永	井	由美子	小松島赤十字病院
只	野	喜代美		長	岡	多恵子	山形県立山辺高校
滝		幸 代	北里大学病院	長	友	伴子	
谷	П	敏 代	岡山大学医学部附属病院	永	頮	春 美	学芸大学附属中学校
田	鶶	留美子		仲	村	美津江	千葉大学看護学部
武	田	美智子		奈島	超	一 枝	
田	島	桂 子	厚生省看護研修研究センター				
髙	橋	朋 子					
武	田	敏 夫	千葉大学教育学部				
高	内	悦 子	県立日高高校	西	沢	テル子	弘前大学教育学部
高	橋	房 恵	東京女子医科大学附屆病院	西	塜	貴 子	田名部高校
高	並	文 子	日大板橋病院	西	村	尚子	弘前大学教育学部
高	山	容 子		西][]	隐 子	千葉大学看護学部
高	橋	るり子		西	野	香 里	
田	丸	志づえ	市原市役所健康管理課	西	村	千代子	厚生省看護研修研究センター
田	中	久美子	筑波大学附属病院	西	П	真 樹子	
田	代	順子	"	西	沢	義子	
千	葉	晶子	虎の門病院	野	-	トモ	
			· ·	能	登	福美	
				野	島	良 子	徳島大学教育学部
土	屋	尚義	千葉大学教育学部				
津	村	直子	北海道教育大学				
津	島	律	弘前大学教育学部	花	. •	具 子	
				橋		美佐子	
				蓮	潟	栄 子	

氏		名	所	灵	氏		名	所	屆
萩	沢	さつえ	熊本大学教育学部		松	盦	薫	世田谷区立駒留中等	学校
芳	賀	明 美	虎の門病院分院		益	子	秀 子	筑波大学附属病院	
橋	本	祐 子	淀川キリスト教病院						
萩	原	悦子	群馬県太田市立宝泉小学校						
原	子	典子	千葉県立ガンセンター						
原	田田	記久子			宮	崎	和子	 千葉大学教育学部	
原	賀	史 子			宮	腰	由紀子	千葉県立衛生専門等	と 院
早	川	和生	近畿大学公泰衛生学教室		Ξ	浦	秀 子	聖路加国際病院	- PC
一人	戸		<u></u> <u> </u>		水	上		能本大学教育学部	
		_			_				
原	谷	珠美	Mr - 1 1 24/0/152 - 04		宮	城	仙子	平和診療所	
花	坂	礼子	筑波大学附属病院		宮	本	博恵	大阪府小林寺小学村	Ý
					宮	111	喜 代	千葉大学看護学部	
					Ξ	畑	美沙子		
平	瀬	牧 子	野田女子高校						
平	泉	由紀子	工 戸川区深川保健所						
東	• •	サトエ	鹿児島大学附属病院		村	越	康一	長汐病院	
平	///	美智子	聖路加国際病院		村	井	雅 子	千葉大学公衆衛生等	学数室
東	/11	裕子	至6000日初小300		村	田田	栄	徳島大学教育学部	1 1/25
広	瀬	裕子	聖路加国際病院		麦	倉	千鶴子	群馬県自治医科大学	分别品定应
Ш	(F)A	TI J	圣时加西欧内克		村村	上	尚美	研究员们区代人	PRIMAINING
古	Ш	ි හි	千葉大学医学部附属病院						
福	井	公明	徳島大学教育学部		245	下	信 子	 慶応義塾大学健康管	多田 センクー
		_	(認局人子教育子司)		森茂	木			
藤	田田	康乃			戊	个	麻 里	東京女子医科大学	打阵 抦阮
福	田	洋子							
藤	井	愛 子							
福	原	敏 子							
藤	本	洋 子	神戸大学医学部附属病院		Ш	岸	治美		
					Ш		覚太郎	千葉大学看護学部	
					Ш	本	惠 子	福岡大学病院	
1					Ш	П	公 代	熊本大学教育学部	
保	科	より子	長野県立木曽東高校		Ш	元	重 光		
本	田	芳 香	聖路加国際病院		Ш][[由美子	聖路加国際病院	
					山	崎	昭 子	弘前大学医学部附属	国病院
					Ш	П	桂 子	千葉大学教育学部	
					Ш	田	智恵利	聖路加国際病院	
松	岡	淳 夫	千葉大学教育学部		Ш	田	泰子		
増	田	昌 子	銚子市立西高等学校		Ш	口	恵美子	市原市役所健康管理	里課
前	原	澄 子	千葉大学看護学部		Щ	下	かおる	茨木市立三島中学	交
松	田	たみ子	// 医学部附属病院						
Œ	村	啓 子	熊本大学 //		İ				
松	永	弘子	国立病院九州ガンセンター						
丸	野	久美子			幸		恭 子		
真	木	五十子	 千葉県立鶴舞高等看護学院				an. 1.		
_^	11	-4-1 J	1 太外五陽好问号每幾手院		l				

氏		:	名	所	屆	氏		名	所	屆
吉	Ħ	伸	子	千葉大学教育学部		渡	辺	せつ子	千葉大学医学部附属病院	t t
吉][[陽	子	// 看護学部		我	鵤	章 子	山口県立岩国商業高校	
吉	田	莳	子	厚生省看護研修研究	ピセンター	渡	辺	ひろみ	浜松市立高校	
米	村	理	美			渡	辺	行 栄	市原市役所健康管理課	
吉	面	文	子	北里大学医学部附属	病院					
吉	武	香作	そチ	千葉大学看護学部						
										計265人

1) 会費未納の方は早やくお納め願います。 54年度会費 3,000円

郵便振替 東京 5 - 8 0 9 7 4 四大学看護学研究会

2) 住所・所属に変更のあった方は至急事務局へ御連絡下さい。

四大学看護学研究会雜誌

第2巻 臨時増刊号

昭和54年8月10日印刷 昭和54年8月20日発行

> 会員無料配布 会員外有料頌布 (Y1,000)

〒280 千葉市弥生町1番33号 発 行 千葉大学教育学都 特別教育(看護)教員養成課程内 四大学看護学研究会

編集人 松 五 淳 夫

千葉市都町1-54-19 印刷 (有) 正 文 社 (33)2235

関係文献

監修 湯槇ます前東大教授 編集林 滋子東大講 師

一 分類内容目次

平山朝子千葉大看護学部

1. 保健看護論

12. 看護用具および医療

2. 保健看護史

器械

3. 看護教育

13. 成人保健看護

4. 看護および保健の制度

14. 老人保健看護

• 組織

15. 母性保健看護

5. 看護管理

16. 小児保健看護

6. 施設管理

17. 家庭看護・訪問看護

7. 看護職と他の職種関係

18. 産業保健看護

8. 看護婦・患者関係

19. 学校保健看護

9. 病床環境調整 10 基本的看護·技術 20. リハビリテーション 21. 地域保健および環境

11. 患者の徴候・心理・行動

保健

本書は、日本で始めての規模をもつ看護の 視点から整理編集された文献集です。看護・ 保健医療のどんな文献でも必ず探し出せる様 利用しやすく配慮されています。看護関係教育 者を始め、病院の総婦長から看護研究生、保健 婦、助産婦まで巾広く利用できる文献集です。

本書の内容・特色

第1券(1973年版)

B5判 658頁 ¥9,300

全文献を21項目に分類。例え ば「看護管理」には、これに関 する文献が全部網羅され、どの

雑誌のどの頁に探している文献 が載っているかが一目でわかり ます。

[]、事項索引

I. 分類項目

文献の内容を表わす見出し語 を、各論文から選び、ABC順 に配列しています。さらに、そ の下には補足語がついて文献の 選択を容易にします。

Ⅲ. 隣接医学領域のカバー

収録誌の大半は医学領域の雑 誌なので看護の視点から医学領 域文献も多数選ばれています。

○315種誌 2,346冊収録 ○文献数 11,264件

第2巻(1974年1月~6月版)

B5判 358頁 ¥7,500

○311種誌 1,159開収録 ○文献数 5,365件

収録雑誌は、すべて保管 しておりますので、購読 会員はコピーをとること が出来ます。

健関係文 保健•養護•福祉•保育-

監修

船川 幡夫 日本女子大学教授 編集

小林 芳文 国立特殊教育総合研究所 宮部 黎子 東洋英和女学院短大 上田 礼子東大医学部 飯田澄美子 神奈川県立衛生短大

第1卷 (1974年1月~6月版) B5 判 368頁 ¥5,800

第2巻 (1974年7月~12月版) B5 判 380頁 ¥8,500

第3巻 (1975年1月~6月版) B5判249頁 ¥8,700

第4卷 (1975年7月~12月版) B5 判 360頁 ¥12,800

- ○257種誌 750冊叔録
- ○文献数 3,774件
- ○抄録数 660件

本書はこどもの保健、教育、保育、精神衛生、 福祉のみならず、特殊教育に関する文献を探すた めの索引です。学校保健関係者をはじめ、特殊教 育者、看護婦、保健婦、保母、ケースワーカー、 医師 それに短大の児童心理・保育・福祉学科・ 養護学校、大学図書館のみなさまの必携の書です。

- 分 類 内 容 目 次---

I. 総論

YII. 健康管理・健康診断 XV. 栄養・給食

II. 制度·行政

Ⅳ. 育児·保育

IX. 健康障害・病虚弱

XM. 災害·安全

Ⅲ. 発育・発達・生理

X. 身体障害

XW. 環境保健(公害)

XI. 精神遅滞

Ⅷ. 地域保健

V. 保健教育(性教育)

21. 重複障害・障害一般

NX. 児童福祉

VI. 健康行動・健康増進 XIII. リハビリテーション

XX. 国外の状況

VII. 健康観察・健康相談 XIV. 精神保健

XXI. 統計·資料

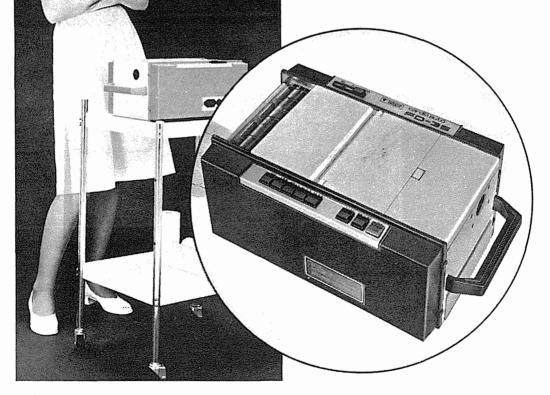
発行所 (株)ジャパン・メディカル・サービス 102 東京都千代田区九段北1 - 2 - 1 蜂谷ビル

自動機能がフルに発揮された!

3要素自動心電計 FD-35 ●オートポジションの採用●自動

記録は任意の位置からスタート可 能●被検者への電気的安全性も万 全です●自動記録の時間を調整で きます●手動でも操作できます

●記録後の整理が簡単●スペア誘 導(任意の誘導の組合せ)を備え ています●60m巻き記録紙が使用 でき集団検診に最適です



● ME機器の総合メーカ



77字 喜子株式会社

本社 東京都文京区本郷3-39-4 ☎(03)815-2121代

* -

看護記録の方法

How to Collect and Record a Health History

- Mahony, Verdisco他/著
- ●田島桂子/訳

(厚生省看護研修研究センター) ● A5判■208頁■1,200円

看護者が患者の「背景」を把握し、認識しておくことは、定形化し たケアによる害悪を避け、実効性をたかめるために重要であるが、 患者のヘルスヒストリーを正確にとらえることは容易ではない。本 書はデータ収集と記録の意義とそのテクニックを詳細に解説する必 読の書。《主要内容》ヘルスヒストリーとは何か、データ収集、デー タの記録、現在の健康状態、家族歴、社会生活歴、系統別問診 他

*患者とのふれあい; その実証的研究

Patient-Nurse Interaction

- A. Altschul/著
- 早坂泰次郎/監訳
- 髙橋照子/訳
- A5判■304頁■1,800円

患者・看護者の関係を、実証的に分析した画期的な書。看護者の働き かけや態度が患者の治癒過程に与える影響と人間関係の諸相を、具 体的な臨床場面の中に分析考究した示唆に富む一書。臨床ナース、 実習指導者、看護学生の必読の書。

《主要内容》関係とふれあい、研究の方法、病棟における看護婦ー 患者のふれあいの型、患者の年齢とふれあい率や時間との関係 他

♣論理的思考;論説文の読み書きにおいて

厚生省看護教員養成講習会で「論理学」の教鞭をとり、看護界に深 くかかわってきた著者が、論説文の実例をもとに、論理的思考とは 何か、その文章表現の方法とは何かを、簡潔、明瞭に分析した。豊 富な実例をもとにした本書は、特別な予備知識や経験がなくとも、 読み進めるようにし、また、練習問題も付し、論理的思考の実際が トレーニングできるように工夫しており、教材としてはもとより、 看護に携わるすべての人に推奨する好著である。

● 宇佐美寛/著

(千葉大学教育学部教授)

●四六判■242頁■1.600円

*実習評価の手引き

看護教育のなかにおいて、実習の占める位置はきわめて大きいが、 "何を"実習し、それを"いかに"評価するかとなると、きわめて 難しい問題が横たわっている。しかし、この問題に真正面から取り 組み、教育実践を展開してきたグループが、実習の具体的な内容を 細かに検討・整理し、さらにそれらの内容に対する具体的な"実習 評価"という困難な課題を美事に体系づけた本書は、看護教育者待 望の必読書である。

- 山田里津/監修
 - (三井記念病院高等看護学院長)
- ●B5判■458頁■4、800円

微式会社

本社■東京都千代田区九段北4丁目1-32 王亚② ☎03 ■264 ■6611 振替東京 0 -114708 メデカルフレンド社 大阪事務所■大阪市北区梅田 | 丁目 2番 2 - | 200号 530 506 ■ 344 ■ 9811